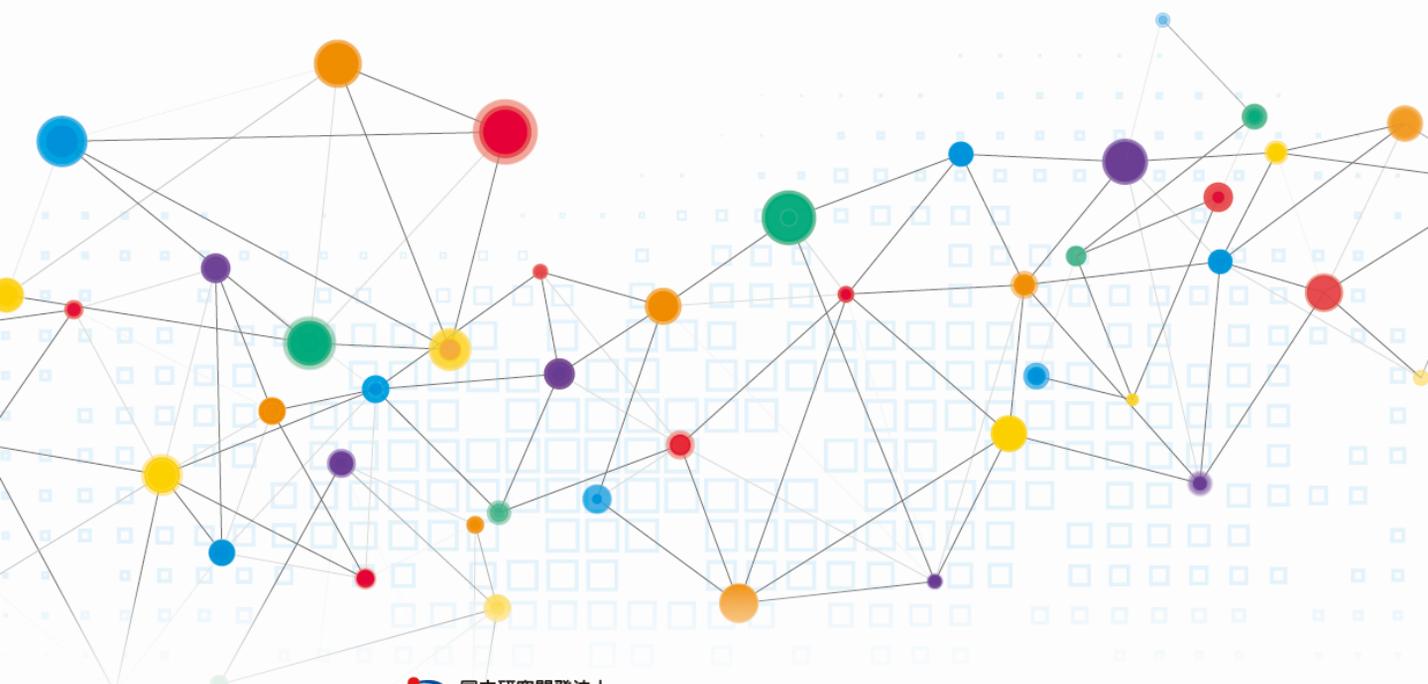


大学見本市2023 開催結果報告書

2023年8月24日(木) 10:00-17:30

2023年8月25日(金) 10:00-17:00

東京ビッグサイト 南1ホール



主催:  国立研究開発法人
科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency

共催: 内閣府、文部科学省

後援: 一般社団法人日本経済団体連合会、公益社団法人経済同友会、日本商工会議所、東京商工会議所

併催事業



大学発ベンチャー表彰2023 表彰式



ムーンショット型研究開発制度 合同シンポジウム
～「ムーンショット×ムーンショット」で生み出す破壊的イノベーション～

目次

1.開催概要

- 1-1.開催概要 ……P4
- 1-2.開催結果 ……P5

2.出展者一覧

- 2-1.大学等シーズ展示 出展者一覧 (カーボンニュートラル・環境) ……P7-9
- 2-2.大学等シーズ展示 出展者一覧 (食料・農林水産) ……P10
- 2-3.大学等シーズ展示 出展者一覧 (健康・医療) ……P11-13
- 2-4.大学等シーズ展示 出展者一覧 (情報通信) ……P14-15
- 2-5.大学等シーズ展示 出展者一覧 (海洋・宇宙) ……P16
- 2-6.大学等シーズ展示 出展者一覧 (インフラ・安全・社会基盤) ……P17
- 2-7.併催事業 出展者一覧 ……P18
- 2-8.JSTその他展示 出展者一覧 ……P19

3.出展研究者プレゼンテーション・セミナー・シンポジウム

- 3-1.プログラム ……P21
- 3-2.出展研究者プレゼンテーションプログラム ……P22-25
- 3-3.セミナー ……P26-27
- 3-4.シンポジウム ……P28

4.来場者属性調査結果

- 4-1.来場者属性 調査結果 ……P30-33

5.来場者アンケート調査結果

- 5-1.来場者アンケート調査結果 ……P35

6.出展者アンケート調査結果

- 6-1.出展者アンケート調査結果 ……P37-38

7.広報活動

- 7-1.新聞広告 ……P40

8.公式サイト

- 8-1.公式サイト ……P42-48

9.制作物

- 9-1.開催案内DM ……P50
- 9-2.公式ガイドブック ……P51
- 9-3.会場配布物 ……P52

10.記録写真

- 10-1.記録写真 ……P54-57

1.開催概要

大学見本市2023～イノベーション・ジャパン

- 会 期 2023年8月24日（木）～25日（金）
- 会 場 東京ビッグサイト 南1ホール（東京都江東区有明3-11-1）
- 主 催 国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）
- 共 催 内閣府、文部科学省
- 後 援 一般社団法人日本経済団体連合会、公益社団法人経済同友会、
日本商工会議所、東京商工会議所

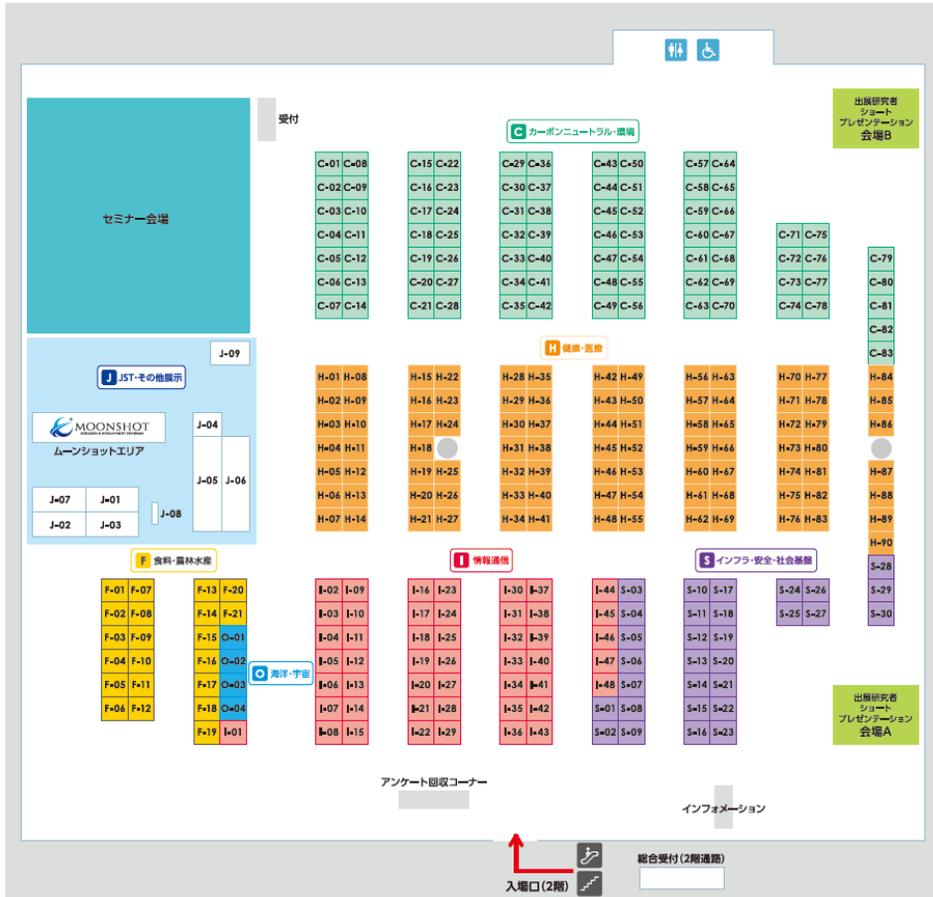
■ 出展者数

大学等シーズ展示		276件	
●カーボンニュートラル・環境	83件	●海洋・宇宙	4件
●健康・医療	90件	●情報通信	48件
●食料・農林水産	21件	●インフラ・安全・社会基盤	30件
併催事業展示		2件	
JSTその他展示		9件	
合計		287件	

■ 出展研究者プレゼンテーション

開催数	136件
-----	------

■ 会場マップ



	8月24日(木)	8月25日(金)	合計
天気	晴	晴	—
来場者数	5,088	5,344	10,432
プレス来場者数	11	11	22
出展研究者 プレゼンテーション 聴講者数	1,237	1,044	2,281
セミナー・シンポジウム 聴講者数	318	327	645

2.出展者一覽

カーボンニュートラル・環境

(1/3)

出展番号	所属機関（大学等）名	所属／出展研究者名	展示タイトル
C-01	大阪公立大学	工学研究科 電子物理系専攻 / 高橋 和	小型人工衛星用の帯電検知センサ開発
C-02	大阪産業大学	工学部 電気電子情報工学科 / 岩田 明彦	空の脱炭素化、電動航空機を実現する軽量遮断器システム
C-03	九州大学	システム情報科学研究院 電気システム工学部門 / 中村 大輔	機械学習を利用したレーザー溶接機および制御システム
C-04	中部大学	超伝導・持続可能エネルギー研究センター / 筑本 知子	超低損失送電を可能にする超伝導ケーブル・冷却技術
C-05	青山学院大学	理工学部 機械創造工学科 / 麓 耕二	超熱伝導ヒートパイプによるサーマルマネージメント
C-06	岐阜大学	工学部 機械工学科 知能機械コース / 伊藤 和晃	深層模倣学習によるワイヤリングロボット
C-07	旭川工業高等専門学校	物質化学工学科 物質化学工学科 / 宮越 昭彦	“第4のカーボン”で世界を変革する
C-08	大阪大学	産業科学研究所 産業科学ナノテクノロジーセンター ソフトナノマテリアル研究分野 / 陣内 青明	営農型太陽光発電のための緑色光波長選択型有機太陽電池
C-09	北九州市立大学	国際環境工学部 エネルギー循環化学科 / 黎 暁紅	合成ガスからの炭化水素合成に優れた性能を持つ新型Co系触媒
C-10	久留米工業高等専門学校	機械工学科 機械工学科 / 中武 靖仁	ファインパブル添加燃料による燃費改善と排気ガスクリーン化
C-11	公立諏訪東京理科大学	工学部 機械電気工学科 / 渡邊 康之	栽培に必要な光を透過する太陽電池を用いた農業ハウス
C-12	滋賀県立大学	工学部 材料化学科 / 奥 健夫	大気中形成可能な高耐久性ペロブスカイト太陽電池
C-13	中部大学	ミュオン理工学研究センター / 佐藤 元泰	小型・安全・クリーンな量子エネルギー源
C-14	筑波大学	システム情報系 構造エネルギー-工学域 / 浅井 健彦	発電効率を飛躍的に向上させた可動物体型波力発電装置
C-15	東海大学	総合科学技術研究所 長谷川研究室 / 長谷川 真也	熱から冷却・加熱・発電が可能な熱音響システム
C-16	東京電機大学	工学部 電気電子工学科 / 佐藤 慶介	シリコン負極への2次元材料包囲でLIB寿命を改善
C-17	鳥取大学	工学部 化学バイオ系学科 / 薄井 洋行	次世代蓄電池を実現するルチル型酸化チタン負極材料
C-18	鳥取大学	工学部 機械物理系学科 鳥取大学工学部附属 先進機械電子システム研究センター(AMES) / 原 豊	低風速域に密集配置可能な小形垂直軸型バタフライ風車
C-19	長岡技術科学大学	工学研究科 機械創造工学専攻 / 佐藤 靖徳	安心安全なポータブル風力発電装置
C-20	名古屋工業大学	大学院工学研究科 工学専攻 電気・機械工学プログラム / 若本 悠宏	大変形する永久磁石を用いたエネルギーハーベスティング
C-21	兵庫県立大学	大学院工学研究科 材料・放射光工学専攻 / 伊藤 省吾	超低価格・長寿命・リサイクル可能なペロブスカイト太陽電池
C-22	福井大学	工学系部門 工学領域 物理学工学講座 / 浅野 貴行	セルロースから水素とカーボンナノチューブ生成方法
C-23	福井大学	工学系部門 工学領域 繊維先端工学講座 / 坂元 博昭	繊維材料から構成される摩擦発電デバイス
C-24	横浜国立大学	大学院工学研究院 システムの創生部門 / 大竹 充	振動や衝撃からエネルギーを創り出す新しい電磁式発電デバイス
C-25	米子工業高等専門学校	総合工学科 化学・バイオ部門 / 谷藤 尚貴	革新的高容量を有する有機系二次電池材料の開発
C-26	琉球大学	工学部 理工学研究科 総合知能工学専攻 / 千住 智信	再生エネを導入した蓄電池の最適運用システム
C-27	東京工業大学	科学技術創成研究院 未来産業技術研究所 佐藤千明研究室 / 佐藤 千明	マテリアルインフォマティクスに向けた材料評価技術
C-28	茨城大学	理工学研究科(工学野) ビームライン科学領域 / 小泉 智	中性子小角散乱とラジオグラフィの同時計測システムの開発
C-29	大阪工業大学	工学部 ナノ材料マイクロデバイス研究センター / 和田 英男	住環境を改善する省エネ・低コストサーモクロミックガラスの開発
C-30	関西大学	化学生命工学部 化学・物質工学科 環境材料 / 上田 正人	ポリブを起点としたサンゴの高効率増殖による二酸化炭素の固定化
C-31	九州工業大学	大学院生命体工学研究科 生体機能応用工学専攻 / 安藤 義人	脱プラに向けて未利用木質資源を使った環境低負荷を指向する材料

カーボンニュートラル・環境

(2/3)

出展番号	所属機関（大学等）名	所属／出展研究者名	展示タイトル
C-32	熊本大学	先進マグネシウム国際研究センター 合金設計分野 ／河村 能人	新強化メカニズムによる高強度・高延性マグネシウム合金の開発
C-33	山陽小野田市立山口東京理科大学	工学部 機械工学科 / 吉村 敏彦	レーザー・磁場・超音波エネルギー集中キャビテーション加工技術
C-34	自然科学研究機構 核融合科学研究所	研究部 プラズマ・複相間輸送 / 時谷 政行	銅及び銅合金の先進的ろう付接合法
C-35	芝浦工業大学	工学部 材料工学科 / 石崎 貴裕	アルミやマグネの防食技術と機能性材料創製技術の開発
C-36	芝浦工業大学	工学部 材料工学科 材料設計工学研究室 / 戸澤 愛	アルミニウム合金上への耐久性に優れた耐食性皮膜の創製技術
C-37	信州大学	学術研究・産学官連携推進機構 信大クリスタルポ ／手嶋 勝弥	グローバル水課題を解決する「信大クリスタル®」
C-38	同志社大学	大学院理工学研究科 応用化学専攻 / 水谷 義	骨を模倣したカーボンニュートラルなプラスチック代替材料
C-39	東北大学	大学院工学研究科 応用化学専攻 極限材料創製化学分野 / 林 大和	SDGsに対応する高スループットナノ材料合成
C-40	名古屋工業大学	大学院工学研究科 工学専攻物理学系 プログラム材料機能分野 表面機能創成研究室 / 呉 松竹	次世代高導電・耐摩耗性銀-グラフェン系複合めっきの創製と特性
C-41	秋田大学	大学院理工学研究科 物質科学専攻 応用化学コース ／大川 浩一	重質油のアスファルトとマルテンの簡易分離方法の開発
C-42	北九州市立大学	国際環境工学部 エネルギー循環化学科 / 今井 裕之	ゼオライトによるパラフィンからの芳香族の効率製造
C-43	岐阜大学	工学部 化学・生命工学科 / 早川 幸男	ブルーアンモニアを原料とした水素発電システム
C-44	京都先端科学大学	工学部 機械電気システム工学科 / 生津 資大	銀ナノ粒子と酸化銅ナノ粒子による低温多層焼結接合技術
C-45	千葉大学	大学院工学研究院 共生応用化学コース / 桑折 道清	孔雀の発色機構を模倣したメラニン系構造色材料
C-46	東京都立大学	都市環境学部 環境応用化学科 / 柳下 崇	超高透過性精密ろ過用メンブレンフィルター
C-47	名古屋工業大学	大学院工学研究科 工学専攻物理学系 プログラム応用物理分野 / 本田 光裕	光触媒殺菌・抗ウイルス効果を持ったナノ/マイクロ繊維
C-48	名古屋大学	未来材料・システム研究所 未来エレクトロニクス集積研究センター / 原田 俊太	スペクトル超解像による分光データの高速取得・高精度分析
C-49	奈良先端科学技術大学院大学	先端科学技術研究科 物質創成科学領域 / 水野 斎	高品質有機ナノ結晶を用いた高輝度有機ELデバイス
C-50	立命館大学	理工学部 機械工学科 / 小林 大造	ひずみ計測の新技術！光起電力が応答するフィルム型センサ
C-51	和歌山大学	システム工学部 システム工学科応用理工学領域 デバイス材料研究室 / 宇野 和行	ミストCVD法を用いた高品質な酸化物半導体の作製技術
C-52	大阪工業大学	工学部 応用化学科 / 下村 修	弱酸で活性発現！一液型熱潜在性硬化剤
C-53	大阪工業大学	工学部 応用化学科 / 松村 吉将	フッ化物イオンの高選択的検出
C-54	大阪工業大学	工学部 応用化学科 / 村田 理尚	塗布可能なn型有機導電性材料の開発
C-55	佐賀大学	理工学部 理工学科 化学部門 / 江良 正直	低コストで環境に優しいペロブスカイト太陽電池の新しい作製方法
C-56	山陽小野田市立山口東京理科大学	工学部 電気工学科 / 高頭 孝毅	上からの光だけをカットするルーバー液晶フィルム
C-57	名古屋工業大学	大学院工学研究科 工学専攻生命・応用化学系 プログラムソフトマテリアル分野 林研究室 / 林 幹大	デジタルフォトバタニング重合が拓くマルチマテリアル樹脂
C-58	奈良女子大学	研究院自然科学系 化学領域 / 吉村 倫一	環境負荷低減を目指したアミノ酸-糖ハイブリッド界面活性剤
C-59	福島大学	共生システム理工学類 物質・エネルギー科学分野 ／浅田 隆志	可視光下で持続的に水や空気を浄化する光触媒担持バイオ炭
C-60	法政大学	生命科学部 環境応用化学科 / 緒方 啓典	エネルギー獲得に向けたナノカーボン複合材料作製技術
C-61	山口大学	大学院創成科学研究科 工学系学域 有機分子材料工学研究室 / 岡本 浩明	1%の添加で溶液を固める“低分子化合物”～有機ゲル化剤～
C-62	熊本大学	大学院先端機構 製剤設計学分野 / 東 大志	賢い素材を安価にかつごみゼロで作る方法

カーボンニュートラル・環境

(3/3)

出展番号	所属機関（大学等）名	所属／出展研究者名	展示タイトル
C-63	群馬大学	大学院理工学府 分子科学部門 / 橋 熊野	ベンゼン環からバイオマス由来のピフラン骨格への転換
C-64	神戸学院大学	薬学部 基礎薬学領域 / 北條 恵子	環境調和型有機合成：水の中でペプチドを化学合成する
C-65	信州大学	繊維学部 化学・材料学科 高坂研究室 / 高坂 泰弘	環境分解/リサイクルを志向した次世代モノマー&易分解性高分子
C-66	東京農工大学	大学院工学研究院 応用化学部門 / 兼橋 真二	未利用廃棄カシューナッツ殻由来の機能性バイオマスプラスチック
C-67	東京理科大学	理学部第一部 応用化学科 / 古海 誓一	セルロースを用いたサステナブルな自己修復材料の開発
C-68	北陸先端科学技術大学院大学	先端科学技術研究科 サステイナブルイノベーション研究領域 / 高田 健司	新機能！バイオマス由来桂皮酸を用いたバイオプラスチックの開発
C-69	秋田大学	大学院理工学研究科 物質科学専攻 / 松本 和也	多孔質酸化イリジウムの簡便作製と酸素発生触媒への応用
C-70	愛媛大学	社会連携推進機構 紙産業イノベーションセンター / 福田内 暁	LDH処理された多機能アルミニウムシート
C-71	大阪大学	産業科学研究所(高等共創研究院) 先端ハード材料研究分野 / 後藤 知代	ナノサイズ無機系吸着材－水環境浄化・資源回収への応用－
C-72	東京工業大学	科学技術創成研究院 ゼロカーボンエネルギー研究所 / グラビッチ アンナ	天敵シロキサンから精密機器を守る吸着技術
C-73	東京工業大学	科学技術創成研究院 ナノ空間触媒研究ユニット / 横井 俊之	二酸化炭素資源化：機能性化学品モノマーの製造
C-74	山梨大学	大学院総合研究部 工学域 土木環境工学系 (基礎教育センター) / 久保田 恒喜	希土フリーゼオライト系白色LED用蛍光体の作製法とその応用
C-75	立命館大学	生命科学部 生物工学科 / 松井 大亮	機械学習を用いた異種タンパク質の可溶性生産の新技術
C-76	山口大学	大学研究推進機構 中高温微生物研究センター / 山田 守	酒造残渣及び洗米排水のエタノール発酵と発電システムの実証試験
C-77	筑波大学	生命環境系 微生物サステナビリティ研究センター / 高谷 直樹	バイオフィルムで環境を守る
C-78	神奈川工科大学	応用バイオ科学部 応用バイオ科学科 / 仲亀 誠司	地球温暖化抑制のためのバイオマス資源からのテレフタル酸の製造
C-79	千葉大学	大学院国際学術研究院 総合国際学講座 / 田島 翔太	地域創生に役立つオフグリッド可搬空間の社会実装プロトタイプ
C-80	長崎県立大学	国際社会学部 国際社会学科 / 森田 均	路面電車の直流架線網を活用する分散型エネルギーインフラ
C-81	茨城大学	大学院理工学研究科 工学野機械システム工学専攻 / 境田 悟志	湿度スイング法を用いた常温で大気からCO2を回収する手法
C-82	工学院大学	先進工学部 生命化学科 / 藤井 克彦	バイオガス改質を目指した新たな微生物利用技術の開発
C-83	北海道科学大学	薬学部 薬学科 医薬化学分野 / 三原 義広	電力不要で自律浮沈する水浄化粒子

食料・農林水産 (1/1)

出展番号	所属機関（大学等）名	所属／出展研究者名	展示タイトル
F-01	埼玉工業大学	大学院工学研究科 機械工学専攻 / 長谷 亜蘭	アコースティックエミッションセンシングによる食感評価
F-02	香川大学	創造工学部 機械システムコース / 下川 房男	MEMS技術を用いた超小型農業用植物生体情報センサの開発
F-03	岐阜大学	工学部 化学・生命工学科 / 竹森 洋	食品含有エクソソーム・細胞外小胞の測定と標準化
F-04	東京薬科大学	薬学部 分析化学教室 / 小谷 明	食品の旨味を瞬時にチェック！ アミノ酸センサの開発
F-05	石川県立大学	生物資源環境学部 食品科学科食品加工学研究室 / 藤田 萩乃	加熱しすぎない！ 梅円焦点集中型マイクロ波食品加熱装置
F-06	岡山県立大学	保健福祉学部 栄養学科 / 伊東 秀之	機能的表示食品届出に向けた機能性関与成分の特定
F-07	徳島大学	バイオイノベーション研究所 動物生産技術分野 / 平田 真樹	食品腐敗菌ライブラリー活用による賞味期限延長と食品ロス削減
F-08	奈良先端科学技術大学院大学	研究推進機構 発酵科学研究室 / 高木 博史	酵母・アミノ酸の機能に着目した発酵・醸造食品のイノベーション
F-09	日本大学	生物資源科学部 バイオサイエンス学科 / 高野 英晃	微生物による有用物質の大量生産を光でコントロールできる技術
F-10	秋田県立大学	生物資源科学部 生物環境科学科 / 佐藤 孝	ダイズの土壌病害を軽減する微生物資材
F-11	岩手大学	農学部 植物生命科学科 / 下野 裕之	環境負荷と労働負荷を軽減する稲作革命： 収穫同時播種法の開発
F-12	熊本大学	産業ナノマテリアル研究所 表面・接合加工プロセス分野 / 浪平 隆男	パルス大電流による食品内寄生虫の殺虫(アニサキス殺虫)
F-13	佐賀大学	農学部 生物資源科学科 生物科学コース / 鈴木 章弘	高収量・肥料削減を可能にするダイズ品種の作出技術
F-14	信州大学	農学部 農学生命科学科 植物資源科学コース / 齋藤 勝晴	土づくりのためのアーバスキュラー菌根菌の培養・貯蔵技術
F-15	筑波大学	生命環境系 生物圏資源科学専攻 / 木下 奈都子	リモートワーク型農業：非侵襲・自動的な害虫被害検出
F-16	鳥取大学	農学部 生命環境農学科 / 大崎 久美子	きのご糞菌床の新たな使い道
F-17	兵庫県立大学	大学院工学研究科 電気物性工学専攻 / 岡 好浩	化学農業の代替となる抗菌水の開発
F-18	琉球大学	農学部 亜熱帯農林環境科学科 / 関根 健太郎	抗ウイルス効果を持つ非可食性植物「月桃」の利用
F-19	佐賀大学	海洋エネルギー研究所 海洋熱エネルギー部門 / 池上 康之	過飽和溶存酸素水の有効利用に関する研究
F-20	秋田県立大学	生物資源科学部 アグリビジネス学科 / 横尾 正樹	光を利用した受精卵(細胞)品質改善技術の開発
F-21	大阪産業大学	デザイン工学部 環境理工学科 / 高浪 龍平	水銀不使用の安全・安心な流水ろ過殺菌装置

健康・医療

(1/3)

出展番号	所属機関（大学等）名	所属／出展研究者名	展示タイトル
H-01	会津大学	コンピュータ理工学部 コンピュータ理工学科 / 前 雷	桃収穫動作を可視化、及び手話認識に利用するための手袋
H-02	高知工科大学	システム工学群 電子・光システム工学専攻 環境浸透型エレクトロニクス研究室 / 野田 聡人	着衣による各種計測を実現するパッシブ素子のネットワーク化
H-03	豊橋技術科学大学	工学部 電気・電子情報工学系 集積電子システム / 崔 容俊	フィルタフリー波長検出センサ
H-04	宇都宮大学	工学部 基盤工学科 / 長谷川 まどか	乳腺疾患画像の読影教育支援システム
H-05	関西学院大学	工学部 知能・機械工学課程 / 中後 大輔	エコプレーキ車椅子：坂道でも行きたい方向に自由自在
H-06	公立諏訪東京理科大学	工学部 機械電気工学科 / 星野 祐	自由に移動でき、介助の楽な電動車いす
H-07	埼玉県立大学	大学院保健医療福祉学研究所 リハビリテーション学専攻 / 小池 祐士	リハビリテーション学生のための運動療法技術教育ロボットアーム
H-08	東京工業大学	工学院 機械系 / 小俣 透	手術ロボットなどのワイヤ駆動ロボットのカセンシング
H-09	同志社大学	理工学部 機能分子・生命化学科 / 遠藤 太佳嗣	簡便な液体の圧電材料
H-10	北見工業大学	工学部 地球環境工学科 先端材料物質工学コース / 大津 直史	チタン製品への高耐久性抗菌・抗ウイルス皮膚簡便形成技術の開発
H-11	佐賀大学	理工学部 理工学科 化学部門 / 成田 貴行	ワンロボットで作れる極細コーゲンチューブ
H-12	東北工業大学	工学部 環境応用化学科 / 丸尾 容子	呼気分析による健康管理のための比色シート
H-13	関西大学	システム理工学部 機械工学科 / 伊藤 健	物理的な抗菌生物作用を発現する「ナノスパイク」
H-14	関西大学	環境都市工学部 エネルギー環境・化学工学科 / 田中 俊輔	金属有機構造体(MOF)を複合機能化する粒子設計・加工技術
H-15	電気通信大学	大学院情報理工学研究所 機械知能システム学専攻 / 菅 哲朗	電氣的に読み取り可能なチップ型表面プラズモン化学量センサ
H-16	東海大学	マイクロ・ナノ研究開発センター 木村研究室 / 木村 啓志	顕微鏡イメージング用組織・器官培養デバイス
H-17	富山県立大学	工学部 医薬品工学科 ライフサイエンス材料研究室 / 竹井 敏	ナノ加工・生物模倣技術を活用したライフサイエンス材料
H-18	豊橋技術科学大学	大学院工学研究科 機械工学系 / 柴田 隆行	健康と食の安全を守るAll-in-One遺伝子検査システム
H-19	兵庫県立大学	大学院理学研究科 物質科学専攻 / 鈴木 雅登	細胞の回転でわかるラベルフリーな電気特性評価装置
H-20	東京農工大学	大学院工学研究院 先端物理工学部門 / 三沢 和彦	レーザー走査型生体分子顕微鏡が拓く早期診断・予防技術
H-21	東京農工大学	大学院工学研究院 先端物理工学部門 / 吉野 大輔	小さな雷“プラズマ”でつくる簡単ナノミスト！
H-22	上智大学	理工学部 物質生命理工学科 分析化学研究室 / 橋本 剛	シクロデキストリンを用いてブドウ糖や細菌を見分ける
H-23	北里大学	理学部 化学科 / 内山 洋介	酸素応答性緑色蛍光物質による新規がんイメージング技術
H-24	鳥取大学	工学部 化学バイオ系学科 / 野上 敏材	天然・非天然オリゴ糖の液相電解自動合成
H-25	甲南大学	理工学部 機能分子化学科 / 茶山 健二	無振とうイオン液体生成自動抽出デバイス
H-26	京都工芸繊維大学	分子化学系(大学院工芸科学研究科 機能物質化学専攻担当) / 熊田 陽一	イムノクロマト検査に適した抗体の設計
H-27	甲南大学	先端生命工学研究所(FIBER) / 建石 寿枝	生細胞を使わず、薬剤の細胞内での効果を簡便に評価する技術
H-28	中央大学	理工学部 応用化学科 / 小松 晃之	人工血液 “ヘモグロビンナノ粒子”
H-29	東京工業大学	生命理工学院 生命理工学系 / 安部 聡	細胞内タンパク質迅速結晶化
H-30	茨城大学	工学部 機械システム工学科 / 上杉 薫	ベシクル・コロイド・ドロップレット作製用攪拌装置
H-31	筑波大学	生命環境系 生物学学位プログラム / 三浦 謙治	高価値タンパク質を植物で低コストに製造する

健康・医療

(2/3)

出展番号	所属機関（大学等）名	所属／出展研究者名	展示タイトル
H-32	日本大学	生物資源科学部 バイオサイエンス学科 核酸・蛋白質科学研究室 / 舩廣 善和	安定化と特異的な検出に最適なペプチドタグの開発
H-33	三重大学	リサーチセンター 海藻バイオファイナリー研究センター / 三宅 英雄	DEH - 海藻多糖由来の希少糖 -
H-34	九州工業大学	大学院生命工学研究科 生体機能応用工学専攻 / 安田 隆	創薬・医療の高度化を図る神経細胞解析デバイス
H-35	京都産業大学	生命科学部 生命科学研究科 先端生命科学科 生命科学専攻 / 加藤 啓子	高齢者の健康を目指した尿検査系の開発
H-36	熊本大学	大学院生命科学研究部 医用画像科学講座 / 米田 哲也	認知症予防を目的とした非侵襲脳内アミロイド蓄積計測法
H-37	弘前大学	大学院医学研究科 医科学専攻 脳神経病理学講座 / 若林 孝一	経鼻投与による薬剤等の脳内到達度をリアルタイムで評価する
H-38	聖マリアンナ医科大学	医学部 麻酔学 / 中川 雅史	新たな肺保護戦略、肺外換気方法の確立
H-39	長崎国際大学	薬学部 薬学科 薬学臨床基盤系臨床検査学研究室 / 隈 博幸	血栓が起きやすい体質を血液検査で診断する
H-40	名古屋市立大学	大学院薬学研究科 薬物送達学分野 / 田上 辰秋	口腔内付着フィルム専用3Dプリンティング技術
H-41	弘前大学	大学院保健学研究科 放射線技術科学領域 / 門前 暁	がん放射線治療の高精度化技術
H-42	広島国際大学	健康科学部 医療栄養学科 / 長嶺 憲太郎	生活習慣病に関わる口腔内細菌の検査法の開発
H-43	三重大学	大学院医学系研究科 免疫学 / 安間 太郎	自然発症腎線維症のヒト化マウスモデルの開発
H-44	山口大学	大学院医学系研究科 医学専攻 / 柳原 正志	乾燥積層線維芽細胞シートによる創傷被覆材(細胞絆創膏)
H-45	大阪大学	大学院工学研究科 物理学系専攻応用物理学コース ナノフォトニクス領域 / 熊本 康昭	秒単位の無標識分子分布分析を可能にする空間ラマン分光法
H-46	大阪大学	基礎工学研究科 機能創成専攻 / 松居 和寛	メタバースにおける新しいリハビリテーション
H-47	大阪工業大学	工学部 生命工学科 / 藤里 俊哉	カプセル化培養肉
H-48	北九州市立大学	環境技術研究所 社会支援ロボット創造研究センター / 松田 鶴夫	慢性期脳機能疾患患者リハビリ装置
H-49	熊本大学	大学院先端科学研究部 医工学部門 生命分子・医用材料分野 / 中島 雄太	がん検査、創薬に向けた医療・バイオデバイス技術
H-50	熊本大学	大学院先端科学研究部 産業創造工学専攻 / 中西 義孝	ガラスやセラミックスなどの脆性材料への表面微細加工
H-51	久留米大学	医学部 医学教育研究センター / 片山 礼司	XR技術応用による医学教育シミュレーションシステム
H-52	埼玉大学	大学院理工学研究科 人間支援・生産科学部門 研究機構 先端産業国際ラボラトリー 埼玉大学社会変革研究センター 埼玉大学戦略研究センター健康科学研究領域 / 綿貫 啓一	不鮮明な画像でも病変部、異常の判断をサポートするシステム
H-53	摂南大学	理工学部 電気電子工学科 / 西 恵理	赤ちゃんの哺乳時における舌運動モデルの開発
H-54	東京電機大学	工学部 機械工学科 人間支援工学研究室 / 井上 淳	布に縫い込める！φ0.5mmセンサを用いた剪断力推定システム
H-55	東京理科大学	創域理工学部 機械航空宇宙工学科 / 竹村 裕	目に見えないものを可視化する近赤外分光イメージング内視鏡
H-56	北陸先端科学技術大学院大学	超越バイオメディカルDX研究拠点 物質化学フロンティア研究領域 / 松村 和明	超越バイオメディカルDX研究拠点
H-57	岩手大学	理工学部 システム創成工学科 機械科学コース / 佐々木 誠	XR技術を用いた口腔ケアスキルの自主訓練 / 遠隔指導システム
H-58	宇都宮大学	共同教育学部 家政分野(食領域) / カバリエロ 優子	食品や料理のユニバーサル3Dデジタル栄養表示システム
H-59	京都府立大学大学院	生命環境科学研究科 応用生命科学専攻 / 南山 幸子	慢性腎臓病進行抑制作用を有する加熱乳酸菌
H-60	神戸学院大学	総合リハビリテーション学部 作業療法学科 / 田代 大祐	腹部の変化で健康管理！呼吸状態を推定する最新デバイス
H-61	佐賀大学	理工学部 理工学科 化学部門 / 富永 昌人	自立分散型健康管理を目指したウレラル皮膚ガスセンサの開発
H-62	札幌市立大学	看護学部 看護学科 / 村松 真澄	高齢者の口腔アセスメントのための画像評価モデル開発

健康・医療

(3/3)

出展番号	所属機関（大学等）名	所属／出展研究者名	展示タイトル
H-63	産業医科大学	医学部 免疫学・寄生虫学 / 吉田 安宏	血清診断代替法を目指したクロットバイオシー法の確立
H-64	滋賀県立大学	工学部 機械システム工学科 地域ひと・モノ・未来情報研究センター / 橋本 宣慶	視線検出を利用した助産師の分娩処置バーチャル演習システム
H-65	静岡県立大学	食品栄養科学部 栄養生命科学科 / 三浦 進司	まさかBCL-Abi阻害剤が筋萎縮を抑制するなんて！
H-66	千葉大学	予防医学センター 健康住環境創造ラボ / 中山 誠健	健康に影響する環境データを選択的に測定するセンサ
H-67	浜松医科大学	光先端医学教育研究センター ナノソフト開発研究部 / 針山 孝彦	人々に癒しを与える赤ちゃんの匂いを調査しました
H-68	北海道科学大学	薬学部 薬学科 薬剤学分野 製剤学研究室 / 丁野 純男	食品添加物成分を利用したアニサキス症予防用組成物
H-69	山梨大学	大学院総合研究部 生命環境学域 生命農学系 (地域食物科学) / 石山 詩織	糖尿病・感染性サイトカインストーム動物モデルの作製
H-70	大阪医科薬科大学	医学部 医学科 薬理学教室 / 森原 啓文	ファミリー病の新規治療薬の開発
H-71	帯広畜産大学	グローバルアグロメディン研究センター 獣医学研究部門 / 菅沼 啓輔	トリパソーマ症の新規経口治療薬
H-72	帯広畜産大学	グローバルアグロメディン研究センター 獣医学研究部門 / 武田 洋平	植物由来抽出物を有効成分とする新規ウイルス不活化剤
H-73	岐阜大学	糖鎖生命コア研究所 研究基盤部門 / 鎌足 雄司	複数のタンパク質の凝集抑制に効果を発揮するGIF化合物
H-74	京都府立大学大学院	生命環境科学研究科 応用生命科学専攻 / 岩崎 有作	糖尿病治療薬SU剤の血糖降下作用を増強させる技術
H-75	京都府立大学大学院	生命環境科学研究科 応用生命科学専攻 / 田中 俊一	抗体ミメティックを活用する悪性腫瘍の予防・診断・治療
H-76	近畿大学	生物理工学部 人間環境デザイン工学科 / 楠 正暢	品質の揃ったスフェロイド/オルガノイドの高効率生産法
H-77	札幌医科大学	医学部 病理学第一講座 / 金関 貴幸	ネオ抗原を迅速かつ効率的に検出する新しい技術
H-78	静岡県立大学	薬学部 生化学分野 / 紅林 佑希	インフルエンザウイルス特異的蛍光イメージング剤
H-79	静岡県立大学	薬学部 生化学分野 / 高橋 忠伸	新規おたふくせ予防・治療剤
H-80	静岡県立大学	薬学部 薬科学科 統合生理学分野 / 原 雄二	膜張力感知チャネルの活性制御による筋疾患治療法開発
H-81	静岡県立大学	薬学部 薬学科 生薬学分野 / 渡邊 正悟	未来のウイルス感染症に備える-ヒトDHODHの阻害薬
H-82	摂南大学	農学部 応用生物科学科 / 芳本 玲	デザイン的な人工スライミング制御RNAの開発
H-83	東京工業大学	科学技術創成研究院 化学生命科学研究所 西山・三浦研究室 / 本田 雄士	タンパク質・生体ナノ分子送達用高分子ミセル
H-84	弘前大学	大学院保健学研究科 生体検査科学領域 / 葛西 宏介	魚のヌルヌルから分離した最強抗菌タンパク質
H-85	福岡大学	医学部 医学科 解剖学講座 / 貴田 浩志	神経難病治療のためのペプチドベースの標的指向性遺伝子キャリア
H-86	星薬科大学	薬学部 薬学科 機能分子創成化学研究室 / 眞鍋 史乃	糖鎖機能の解明による新しい創薬技術
H-87	立命館大学	薬学部 創薬科学科 / 高田 達之	抗ウイルス剤等の評価にも有用！ 繊毛細胞の簡便な調製法
H-88	名古屋工業大学	大学院工学研究科 工学専攻社会工学系 プログラム建築・デザイン分野 / 伊藤 洋介	花粉の室内への侵入を防止する帯電吸着網戸の研究
H-89	茨城大学	農学部 食生命科学科 / 朝山 宗彦	藻由来エキスと多糖の飲食品・化粧品・医薬品素材向け機能
H-90	宇都宮大学	工学部 技術部 / 北本 拓磨	ユズの香りでリラックス！ 抗ストレス調合香料

情報通信

(1/2)

出展番号	所属機関(大学等)名	所属/出展研究者名	展示タイトル
I-01	京都工芸繊維大学	電気電子工学系(大学院工芸科学研究科 電子システム工学専攻担当) / 上田 哲也	メタマテリアルによる次世代無線通信用アンテナ
I-02	慶應義塾大学	環境情報学部 / 三次 仁	バッテリーフリー無線センサ技術
I-03	静岡大学	工学部 電気電子工学科 / 丹沢 徹	IoT端末 環境発電でバッテリー交換の手間を省きます!
I-04	東京工業大学	科学技術創成研究院 未来産業技術研究所 / 徳田 崇	超小型・超低消費電力情報処理システムのコア技術
I-05	東京工芸大学	工学部 工学科電気電子コース / 越地 福朗	外観デザインと調和する透明アンテナ
I-06	東京理科大学	工学部 電気工学科 / 河原 尊之	量子コンピューターと同等な計算能力を有する人工知能処理LSI
I-07	同志社大学	理工学部 電気工学科 / 小山 大介	超音波による小型・薄型可変焦点レンズ
I-08	東北工業大学	工学部 工学研究科 電気電子工学科 電子工学専攻 / 室山 真徳	人の動作をリアルタイムかつ高精度にセンシングする技術
I-09	長崎大学	工学研究科 電気・情報科学部門 / 藤本 孝文	外径寸法が小さく放射利得が大きいアンテナ装置
I-10	兵庫県立大学	大学院工学研究科 電子情報工学専攻 / 山本 真一郎	メタルバックを用いないミリ波帯用電波吸収体の開発
I-11	立命館大学	理工学部 電気電子工学科 / 野坂 秀之	高速移動体にも狙いを定めてビームを制御! 高性能移相器
I-12	龍谷大学	先端理工学部 電子情報通信課程 / 木村 睦	新積和回路を用いたニューロモーフックシステム
I-13	会津大学	コンピュータ理工学部 コンピュータ理工学科 / 齋藤 寛	野生動物警報・追跡装置
I-14	会津大学	コンピュータ理工学部 コンピュータ理工学科 / 渡部 有隆	スマート学習支援環境
I-15	岩手県立大学	ソフトウェア情報学部 ソフトウェア情報学科 堀川研究室 / 堀川 三好	ヒトの行動をセンシング~見える化で新サービス~
I-16	大阪工業大学	情報科学部 情報メディア学科 / 河北 真宏	ライトフィールド3Dカメラと裸眼3Dディスプレイ
I-17	九州工業大学	先端研究・社会連携本部 ニューロモルフック AIハードウェア研究センター / 田中 悠一郎	エッジのための低学習コストAI
I-18	九州工業大学	大学院情報工学研究科 知能情報工学研究系 / 徳永 旭将	試行錯誤のプロセスを大幅に低減する外観検査AI技術
I-19	慶應義塾大学	理工学部 物理情報工学科 田中研究室 / 田中 宗	量子コンピューティングとAIの融合ソフトウェア開発
I-20	慶應義塾大学	理工学研究科 開放環境科学専攻 山崎研究室 / 山崎 信行	分散リアルタイム処理用プロセッサ RMTP SoC
I-21	工学院大学	情報学部 コンピュータ科学科 / 位野木 万里	技術文書の記述状況を瞬時に把握する自動要約
I-22	高知大学	教育研究部自然科学系 理工学部 / 高田 直樹	目の前に3D映像が浮かぶホログラフィック空中ディスプレイ
I-23	高知工科大学	情報学群 情報とメディア専攻 画像情報工学研究室 / 栗原 徹	RGBカメラで検出精度向上を実現する光学フィルタの開発
I-24	千葉大学	情報戦略機構 データマネジメント部門 / 小室 信喜	非接触環境センシングによって心の状態を見える化
I-25	筑波大学	システム情報系 情報工学域 / 山際 伸一	高性能ストリームデータ圧縮技術 ASE Coding
I-26	奈良先端科学技術大学院大学	先端科学技術研究科 情報科学領域 / 中島 康彦	超効率汎用計算アクセラレータIMAX3の紹介
I-27	広島市立大学	大学院情報科学研究科 知能工学専攻 / 目良 和也	相手の声や態度から心の状態を探る
I-28	立命館大学	情報理工学部 情報理工学科 / 村尾 和哉	腕を握り機器を操作! 血流変化を用いたインターフェース
I-29	会津大学	コンピュータ理工学部 コンピュータ理工学科 / 富岡 洋一	軽量で故障に強いニューラルネットワークモデルと回路の実現
I-30	岡山県立大学	情報工学部 情報システム工学科 / 渡辺 富夫	人を引き込む身体的インタラクション・コミュニケーション技術
I-31	関西大学	総合情報学部 総合情報学科 ヒューマン・ロボット・インタラクション研究室 / 瀬島 吉裕	コミュニケーションにおける雰囲気推定技術

情報通信

(2/2)

出展番号	所属機関（大学等）名	所属／出展研究者名	展示タイトル
I-32	九州産業大学	理工学部 機械工学科 / 鶴田 和寛	目視検査を助けよう！～AIによるねじ検品補助技術の開発～
I-33	京都工芸繊維大学	情報工学・人間科学系(大学院工芸科学研究科 情報工学専攻担当) / 田中 一品	手の触感を再現する身体接触用ロボットハンド
I-34	慶應義塾大学	理工学部 システムデザイン工学科 桂研究室 / 桂 誠一郎	AI/ハンドインタフェース
I-35	奈良先端科学技術大学院大学	先端科学技術研究科 情報科学領域 / 藤本 雄一郎	思いやりをもったAIによるVRプレゼンテーション訓練
I-36	奈良先端科学技術大学院大学	先端科学技術研究科 情報科学領域 エピタキスコンピューティングシステム研究室 / 松田 裕貴	AbaCaaS : ICTそろばん学習支援システム
I-37	芝浦工業大学	工学部 電気工学科 / 重宗 宏毅	紙の自律構造形成技術を用いて作製する折紙デバイス
I-38	信州大学	繊維学部 機械・ロボット学科 / 岩本 憲泰	ロボット工学から考える曲面状製品を制御可能にする技術
I-39	東京農工大学	大学院工学研究院 先端電気電子部門 / 張 亜	広帯域MEMSセンサとMEMS振動解析装置
I-40	福岡大学	理学部 物理科学科 / 山本 大輔	タンパク質に優しい熱ゆらぎ原子間力顕微鏡測定法
I-41	山口大学	大学院創成科学研究科 工学系学域 / 石井 治之	ナノ粒子集積型の金マイクロチューブ作製法
I-42	秋田大学	大学院理工学研究科 数理・電気電子情報学専攻 電気電子工学コース / 齊藤 準	高分解能・強磁場観察可能な磁気力顕微鏡用・超常磁性探針
I-43	自然科学研究機構 核融合科学研究所	研究部 位相空間乱流ユニット / 西浦 正樹	規格帯域を超えた高性能GHzフィルタと応用
I-44	徳島大学	ポストLEDフォトリソ研究所 次世代光研究部門 / 江本 顕雄	偏光と分光をワンショットで測定できる光学センサー
I-45	徳島大学	ポストLEDフォトリソ研究所 大学院理工学専攻 創成科学研究科 / 安井 武史	環境温度変化に強い！温度ドリフト補償型ファイバー・センシング
I-46	室蘭工業大学	大学院工学研究科 環境創生工学系専攻 / 飯森 俊文	新しい磁気光学デバイスを実現する柔らかな磁性マテリアル
I-47	高知工科大学	理工学群 機能化学専攻 機能性高分子化学研究室 / 林 正太郎	フレキシブルな大面積コヒーレント光源の開発
I-48	千葉工業大学	情報科学部 情報工学科 / 信川 創	ひとみの動きによる脳の状態推定

海洋・宇宙

(1/1)

出展番号	所属機関（大学等）名	所属／出展研究者名	展示タイトル
O-01	九州大学	芸術工学研究院 人間生活デザイン部門 / 齊藤 一哉	ハサミムシ後翅の折り畳みに基づく展開構造物
O-02	東京電機大学	理工学部 理工学科、機械工学系 材料力学研究室 / 清水 透	廉価3Dプリンターによる金属積層造形
O-03	宮崎大学	工学部 工学科応用物理工学プログラム / 武田 彩希	X線イメージングの高感度化を実現するSOIセンサの開発
O-04	自然科学研究機構 国立天文台	国立天文台 先端技術センター / 服部 雅之	汎用補償光学系：マルチスケールでの応用の展開

インフラ・安全・社会基盤

(1/1)

出展番号	所属機関（大学等）名	所属／出展研究者名	展示タイトル
S-01	秋田県立大学	システム科学技術学部 知能メカトロニクス学科 ／伊東 良太	THz帯での位相計測を可能にする液晶デバイスの開発
S-02	大阪大学	基礎工学研究科 システム創成専攻電子光科学領域 ／易 利	送受信器一体型テラヘルツイメージングシステム
S-03	九州工業大学	大学院生命体工学研究科 生体機能応用工学専攻 ／大村 一郎	コンディションモニタリング用超軽量・小型・低コスト電流センサ
S-04	創価大学	理工学部 共生創造理工学科 ／渡辺 一弘	IoT向け省電力オール光ファイバ水位計測システム
S-05	東京農工大学	大学院工学研究院 先端物理工学部門 ／生田 昂	ppbの有機分子を検出可能にする小型高感度センサ
S-06	東京理科大学	理学部第一部 物理学科 ／佐中 薫	光ファイバー方式の単一光子光源
S-07	中部大学	工学部 電気電子システム工学科 ／常川 光一	友達ロボット(ハード脳スマホDB)と走行充電EV(無線給電)
S-08	広島国際大学	保健医療学部 診療放射線学科 ／山本 めぐみ	AI画像生成による物体検知・異常検知
S-09	秋田県立大学	システム科学技術学部 機械工学科 ／富岡 隆弘	あらゆる方向の振動を吸収する新しい制振デバイス
S-10	関西大学	システム理工学部 機械工学科 ／谷 弘詞	摩擦発電電機組み込みシューズ
S-11	近畿大学	理工学部 機械工学科 ／原田 孝	狭所作業用親指サイズ多自由度ロボットのための新しい機構の提案
S-12	山陽小野田市立山口東京理科大学	工学部 機械工学科 ／中道 友	フィルム巻き取りの非破壊イメージング検査
S-13	滋賀県立大学	工学部 機械システム工学科 地域ひと・モノ・未来 情報研究センター ／田中 昂	非線形超音波の振動インテンシティによる接触型異常の検出
S-14	東京工業大学	工学院 機械系 ／岡田 昌史	衝撃を伝えない機構
S-15	徳島大学	大学院社会産業理工学研究部 知能機械学分野 ／高岩 昌弘	標準型空気圧アクチュエータの超精密位置決め技術
S-16	室蘭工業大学	大学院工学研究科 生産システム工学系専攻 ／畠中 和明	カメラと背景画像のみで流れ場を可視化する技術の研究開発
S-17	明治大学	研究・知財戦略機構 先端数理科学 インスティテュート(MIMS) ／萩原 一郎	軽量で複数の荷重方向に対応する折紙式油圧ダンパー
S-18	立命館大学	理工学部 ロボティクス学科 アクチュエーション研究室 ／加古川 篤	配管インフラの救世主！小口径配管の点検装置
S-19	工学院大学	先進工学部 応用物理学科 ／永井 裕己	低温熱処理で形成した低屈折率透明フィルムヒーター
S-20	帝京大学	先端総合研究機構 オープンイノベーション部門 ／横堀 壽光	高温クリーブ寿命と力学的性能の短時間高精度定量評価法
S-21	横浜国立大学	大学院環境情報研究院 人工環境と情報部門 ／伊藤 暁彦	マイクロメートル厚の透明セラミックス結晶の迅速製造技術
S-22	東京理科大学	創域理工学部 先端物理学科 ／伊藤 博士	次世代半導体ソフトエラー低減のための高感度アルファ線測定技術
S-23	新潟大学	自然科学系生産デザイン工学系列(工学部) 工学科機械システム工学プログラム ／安部 隆	肉眼で検出前に材料・構造体の状態変化を診断可能な水晶センサ
S-24	東洋大学	理工学部 応用化学科 ／勝亦 徹	蛍光体を応用した深紫外(UVC)、温度、X線センサの開発
S-25	愛知工業大学	工学部 土木工学科 ／山本 義幸	アクチュエーターを利用したセンサ間の時刻同期
S-26	近畿大学	生物理工学部 医用工学科 ／三上 勝大	低パワーレーザで実現させる打音検査
S-27	香川高等専門学校	高松キャンパス 建設環境工学科 地域イノベーションセンター ／向谷 光彦	ため池堤体の浸透性能評価とサイフォンによる安全対策
S-28	仙台高等専門学校	総合工学科 ／園田 潤	災害捜索やインフラ点検のための自動走行地中レーザロボット
S-29	東京理科大学	先進工学部 物理学科 ／中嶋 宇史	広域をカバーするモビリティ検出センサ
S-30	宮崎大学	工学教育研究部 応用物質化学プログラム ／塩盛 弘一郎	熱を感じて泡を作って消す！感温性自己発泡型消火剤

併催事業展示 ムーンショット型研究開発制度エリア



「ムーンショット」とは、人々を魅了する野心的な目標を掲げて世界中の研究者の英知を結集しながら困難な社会課題の解決を目指し、挑戦的な研究開発を進める研究開発制度です。

ロボット・AI、健康医療、地球環境、食と農業、量子、気象、ころなど全9目標について、デモを交えて研究内容を紹介します。

ムーンショット型研究開発制度についてはこちらから▶
内閣府ホームページ (<https://www8.cao.go.jp/cstp/moonshot/index.html>)



併催事業展示 大学発ベンチャー表彰 2023 受賞者ご紹介



大学等の成果を活用して起業したベンチャーのうち、今後の活躍が期待される優れた大学発ベンチャーを表彰するとともに、特にその成長に寄与した大学や企業などを表彰します。24日(木)表彰式が行われるセミナー会場付近にて2023年度の受賞者をご紹介します。

大学発ベンチャー表彰についてはこちらから▶
(<https://www.jst.go.jp/aas/>)



J-01 JSTスタートアップ出資・支援事業 SUCCESS

JSTの「SUCCESS」は研究開発成果の実用化をめざすベンチャー精神にあふれるの方々を支援する制度です。

出資型新事業創出支援プログラム(SUCCESS)事業サイトはこちら▶
(<https://www.jst.go.jp/entre/>)

出資型新事業創出支援プログラムおよび出資先のご紹介

C4U株式会社 (大阪大学発ベンチャー企業)	bitBiome株式会社 (早稲田大学発ベンチャー企業)	株式会社サイフーズ (九州大学発ベンチャー企業)
[ゲノム編集技術 (CRISPR-Cas3) を用いた遺伝子治療法の開発]	[シングルセル技術を用いた微生物のゲノム解析]	[「3D細胞製品」の実用化を目指す再生医療スタートアップ]

J-02 JSTマッチングプランナー制度 A-STEP

JSTの「マッチングプランナー」は、全国5カ所のオフィスにて解決すべき技術的課題(ニーズ)とその解決につながり得る大学などの研究成果、知的財産(シーズ)を結び専門人材です。お気軽にご相談ください。

A-STEP マッチングプランナー制度ご紹介はこちら▶
(https://www.jst.go.jp/a-step/outline/tryout_mp.html)

マッチングプランナーによるシーズのご紹介もあります

「視覚的注意に基づいた情報入力装置」 宇都宮大学工学部基礎工学科 助教 金成 慧 ▶分野:健康・医療	「コメに含まれるカドミウム含量簡便定量のための化合物探索」 奈良女子大学研究理工学系工学領域 教授 三好 裕司 ▶分野:食料・農林水産
--	---

J-03 JST所有特許技術紹介 ★おすすめコンテンツ 知財活用支援事業

JSTの所有特許約2,500件、ライフサイエンス、ナノテクノロジー・先端材料、電子・機械・光学、環境・エネルギーと多岐にわたる技術領域の中から選りすぐりの特許ファミリー【約70件の技術概要を記載した小冊子】を配布します!

ライフサイエンス | 環境・エネルギー情報通信 | ナノテクノロジー・先端材料 | 電子・機械・光学

JSTが保有する特許・特許出願の発明はホームページでも公開中。
ご確認お問い合わせはこちらから (<https://www.jst.go.jp/chizai/patent.html>) ▶

J-04 JST大学発スタートアップ起業支援事業成果展示 START

「グランドグリーン株式会社」

研究成果展開事業の「大学発新産業創出プログラム プロジェクト推進型 起業実証支援」の参画を通して、「植物から、無限大の可能性を。」を事業コンセプトに据え、名古屋大学発で起業された「グランドグリーン株式会社」をご紹介します。

展示企業

グランドグリーン株式会社
(名古屋大学発ベンチャー企業)

次世代の食糧を創造する研究開発型のアグリバイオスタートアップ

研究成果展開事業大学発新産業創出プログラム (START) 事業サイトはこちらから▶
(<https://www.jst.go.jp/start/>)

J-05 JST未来社会創造事業 未来社会創造事業

未来社会創造事業は、社会・産業ニーズを踏まえ、経済・社会的にインパクトのあるターゲットを明確に見据えた技術的にチャレンジングな目標を設定し、実用化が可能が見極められる段階(概念実証:POC)を目指した研究開発を実施します。

今回は「顕在化する社会課題の解決」領域から研究課題の一部をご紹介します。

未来社会創造事業サイトはこちら▶
(<https://www.jst.go.jp/mirai/jp/>)

J-06 JST戦略的創造研究推進事業 採択課題展示

JST戦略的創造研究推進事業にて採択された技術シーズを展示します。

さきがけ採択課題 「都市の未来予測と意思決定を支える時空間AI技術」 京都大学大学院情報学研究所知能情報学専攻 助教 竹内 孝 ▶分野:インフラ・安全・社会基盤 都市から計測される移動と行動のデータを時間と空間の観点から分析し、都市の未来の状態を予測するAI技術を研究しています。	志研 CREST採択課題 「高分子微粒子による劣化しないマテリアルリサイクル」 信州大学学術研究院繊維学系 准教授 鈴木 大介 ▶分野:カーボンニュートラル・環境 高分子の鎖を数十から数百ナノメートル程度のサイズに微粒子化し、それらを集積して高分子成形体を形成することで、従来は難しいとされてきた高分子材料の強靱性と優れた分解性の両立が可能であることを発見しました。
CREST採択課題 「触感のある空中映像」 東京大学大学院新領域創成科学研究科複雑理工学専攻 教授 藤田 裕之 ▶分野:情報通信 空中超音波によって非接触で触覚を提示し、触感のある映像を作り出します。小動物や選手の触感なども再現されます。「見る」空中映像の世界初のデモです。	ACT-X採択課題 「AIが生成した教材も自動評価する技術」 東京学芸大学教育学部技術科学分野 准教授 江原 暲 ▶分野:情報通信 外国語学習支援を中心に、個々の学習者に合わせたテキストを自動評価する技術を開発しています。

戦略的創造研究推進事業サイトはこちら▶
(<https://www.jst.go.jp/kisoken/>)

J-07 Plus (Platform for unified support for startups) Plus

政府系16機関連携スタートアップ支援プラットフォーム

NEDOを含む政府系16機関は、スタートアップ支援を目的として、「スタートアップ・エコシステムの形成に向けた支援に関する協定書」を締結し、スタートアップ支援に関するプラットフォーム(通称Plus(プラス)“Platform for unified support for startups”)として連携しています。ご相談内容・フェーズに合わせた各種支援制度のご紹介等を行っていますので、お気軽にお立ち寄りください。

ワンストップ相談窓口「Plus One(プラスワン)」はこちら▶
(<https://startips.nedo.go.jp/plusone/>)

J-08 JST情報サービスのご紹介

J-09 各種資料コーナー

各種関係機関や出展機関のお知らせ、資料を設置しています。

3.出展研究者プレゼンテーション セミナー・シンポジウム

8.24 木 1日目

8.25 金 2日目

セミナー会場

出展研究者
ショートプレゼンテーション会場

セミナー会場

出展研究者
ショートプレゼンテーション会場

10:00				
10:30	 <p>未来社会 創造事業</p> <p>10:30~12:00 Online配信</p> <p>変容する社会課題の 解決への挑戦</p> <p>—食料・エネルギー・生態系 サービスの未来を見据えて—</p>	 <p>CRDS 研究開発戦略センター Center for Research and Development Strategy AIST Tsukuba Central Campus</p> <p>10:30~12:30</p> <p>研究開発の俯瞰と 潮流</p> <p>～科学技術イノベーションの 動向と日本の活路～</p>	<p>11:00~16:00</p> <p>出展研究者 ショート プレゼンテーション</p> <p>会場A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カーボンニュートラル・環境 ・海洋・宇宙 ・食料・農林水産 ・インフラ・安全・社会基盤 <p>会場B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康・医療 ・情報通信 	<p>11:00~16:00</p> <p>出展研究者 ショート プレゼンテーション</p> <p>会場A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カーボンニュートラル・環境 ・食料・農林水産 ・インフラ・安全・社会基盤 <p>会場B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康・医療 ・情報通信
11:00				
11:30				
12:00				
12:30				
13:00				
13:30				
14:00				
14:30				
15:00	<p>併催事業</p>  <p>2023 Award for Academic Startups</p> <p>15:00~17:00</p> <p>大学発 ベンチャー表彰2023 表彰式</p>	<p>併催事業</p>  <p>MOONSHOT RESEARCH & DEVELOPMENT PROGRAM</p> <p>13:30~16:30 Online配信</p> <p>ムーンショット型 研究開発制度 合同シンポジウム</p> <p>～「ムーンショット×ムーン ショット」で生み出す破壊 的イノベーション～</p>		
15:30				
16:00				
16:30				
17:00				

8.24(木) 1日目

プレゼン会場A

■プレゼンテーション時間5分

開始時間	分野	所属機関名	代表研究者名	展示タイトル
11:00	カーボンニュートラル・環境	米子工業高等専門学校	谷藤 尚貴	革新的高容量を有する有機系二次電池材料の開発
11:08	カーボンニュートラル・環境	東京電機大学	佐藤 慶介	シリコン負極への2次元材料包囲でLIB寿命を改善
11:16	カーボンニュートラル・環境	鳥取大学	原 豊	低風速域に密集配置可能な小形垂直軸型パタフライ風車
11:24	カーボンニュートラル・環境	横浜国立大学	大竹 充	振動や衝撃からエネルギーを創り出す新しい電磁式発電デバイス
11:32	カーボンニュートラル・環境	中部大学	佐藤 元泰	小型・安全・クリーンな量子エネルギー源
11:40	カーボンニュートラル・環境	旭川工業高等専門学校	宮越 昭彦	"第4のカーボン"で世界を変革する
11:48	カーボンニュートラル・環境	岐阜大学	伊藤 和晃	深層模倣学習によるワイヤリングロボット
11:56	カーボンニュートラル・環境	大阪公立大学	高橋 和	小型人工衛星用の帯電検知センサ開発
12:04	カーボンニュートラル・環境	名古屋工業大学	呉 松竹	次世代高導電・耐摩耗性銀-グラフェン系複合めっきの創製と特性
12:12	カーボンニュートラル・環境	茨城大学	小泉 智	中性子小角散乱とラジオグラフィの同時計測システムの開発
12:20	カーボンニュートラル・環境	熊本大学	河村 能人	新強化メカニズムによる高強度・高延性マグネシウム合金の開発
12:28	カーボンニュートラル・環境	大阪工業大学	和田 英男	住環境を改善する省エネ・低コストサーモクロミックガラスの開発
12:36	カーボンニュートラル・環境	信州大学	手嶋 勝弥	グローバル水課題を解決する「信大クリスタル®」
12:44	カーボンニュートラル・環境	東北大学	林 大和	SDGsに対応する高スループットナノ材料合成
12:52	カーボンニュートラル・環境	自然科学研究機構 核融合科学研究所	時谷 政行	銅及び銅合金の先進的ろう付接合法
13:20	カーボンニュートラル・環境	芝浦工業大学	芹澤 愛	アルミニウム合金上への耐久性に優れた耐食性皮膜の創製技術
13:28	カーボンニュートラル・環境	同志社大学	水谷 義	骨を模倣したカーボンニュートラルなプラスチック代替材料
13:36	カーボンニュートラル・環境	東京工業大学	佐藤 千明	マテリアルインフォマティクスに向けた材料評価技術
13:44	海洋・宇宙	九州大学	斉藤 一哉	ハサミムシ後翅の折り畳みに基づく展開構造物
13:52	海洋・宇宙	東京電機大学	清水 透	廉価3Dプリンターによる金属積層造形
14:00	食料・農林水産	岐阜大学	竹森 洋	食品含有エクソソーム・細胞外小胞の測定と標準化
14:08	食料・農林水産	香川大学	下川 房男	MEMS技術を用いた超小型農業用植物生体情報センサの開発
14:16	食料・農林水産	信州大学	齋藤 勝晴	土づくりのためのアーバスキュラー菌根菌の培養・貯蔵技術
14:24	食料・農林水産	熊本大学	浪平 隆男	パルス大電流による食品内寄生虫の殺虫(アニサキス殺虫)
14:32	食料・農林水産	岩手大学	下野 裕之	環境負荷と労働負荷を軽減する稲作革命:収穫同時播種法の開発
14:50	食料・農林水産	秋田県立大学	佐藤 孝	ダイズの土壌病害を軽減する微生物資材
14:58	インフラ・安全・社会基盤	東京理科大学	伊藤 博士	次世代半導体ソフトエラー低減のための高感度アルファ線測定技術
15:06	インフラ・安全・社会基盤	中部大学	常川 光一	友達ロボット(ハード脳スマホDB)と走行充電EV(無線給電)
15:14	インフラ・安全・社会基盤	横浜国立大学	伊藤 暁彦	マイクロメートル厚の透明セラミックス結晶の迅速製造技術
15:22	インフラ・安全・社会基盤	帝京大学	横堀 壽光	高温クリープ寿命と力学的性能の短時間高精度定量評価法
15:30	インフラ・安全・社会基盤	秋田県立大学	富岡 隆弘	あらゆる方向の振動を吸収する新しい制振デバイス
15:38	インフラ・安全・社会基盤	徳島大学	高岩 昌弘	標準型空気圧アクチュエータの超精密位置決め技術
15:46	インフラ・安全・社会基盤	立命館大学	加古川 篤	配管インフラの救世主!小口径配管の点検装置
15:54	インフラ・安全・社会基盤	近畿大学	原田 孝	狭所作業用親指サイズ多自由度ロボットのための新しい機構の提案

8.24(木) 1日目

プレゼン会場B

■プレゼンテーション時間5分

開始時間	分野	所属機関名	代表研究者名	展示タイトル
11:00	健康・医療	公立諏訪東京理科大学	星野 祐	自由に移動でき、介助の楽な電動車いす
11:08	健康・医療	関西学院大学	中後 大輔	エコプレーキ車椅子:坂道でも行きたい方向に自由自在
11:16	健康・医療	同志社大学	遠藤 太佳嗣	簡便な液体の圧電材料
11:24	健康・医療	茨城大学	朝山 宗彦	藻由来エキスと多糖の飲食品・化粧品・医薬品素材向け機能
11:32	健康・医療	大阪大学	熊本 康昭	秒単位の無標識分子分布分析を可能にする空間ラマン分光法
11:40	健康・医療	大阪大学	松居 和寛	メタバースにおける新しいリハビリテーション
11:48	健康・医療	北九州市立大学	松田 鶴夫	慢性期脳機能疾患患者リハビリ支援装置
11:56	健康・医療	熊本大学	中西 義孝	ガラスやセラミックスなどの脆性材料への表面微細加工
12:04	健康・医療	大阪工業大学	藤里 俊哉	カプセル化培養肉
12:12	健康・医療	北陸先端科学技術大学院大学	松村 和明	超越バイオメディカルDX研究拠点
12:20	健康・医療	東京理科大学	竹村 裕	目に見えないものを可視化する近赤外分光イメージング内視鏡
12:28	健康・医療	兵庫県立大学	鈴木 雅登	細胞の回転でわかるラベルフリーな電気特性評価装置
12:36	健康・医療	富山県立大学	竹井 敏	ナノ加工・生物模倣技術を活用したライフサイエンス材料
12:44	健康・医療	豊橋技術科学大学	柴田 隆行	健康と食の安全を守るAll-in-One遺伝子検査システム
12:52	健康・医療	関西大学	伊藤 健	物理的な抗微生物作用を発現する「ナノスパイク」
13:20	健康・医療	電気通信大学	菅 哲明	電氣的に読み取り可能なチップ型表面プラズモン化学量センサ
13:28	健康・医療	九州工業大学	安田 隆	創薬・医療の高度化を図る神経細胞解析デバイス
13:36	健康・医療	弘前大学	若林 孝一	経鼻投与による薬剤等の脳内到達度をリアルタイムで評価する
13:44	健康・医療	京都産業大学	加藤 啓子	高齢者の健康を目指した尿検査系の開発
13:52	健康・医療	東北工業大学	丸尾 容子	呼吸分析による健康管理のための比色シート
14:00	健康・医療	北見工業大学	大津 直史	チタン製品への高耐久性抗菌・抗ウイルス皮膜簡便形成技術の開発
14:08	健康・医療	佐賀大学	成田 貴行	ワンボットで作れる極細カラーゲンチューブ
14:16	情報通信	会津大学	齋藤 寛	野生動物警報・追跡装置
14:24	情報通信	筑波大学	山際 伸一	高性能ストリームデータ圧縮技術 ASE Coding
14:32	情報通信	大阪工業大学	河北 真宏	ライトフィールド3Dカメラと裸眼3Dディスプレイ
14:50	情報通信	工学院大学	位野木 万里	技術文書の記述状況を瞬時に把握する自動要約
14:58	情報通信	高知工科大学	栗原 徹	RGBカメラで検出精度向上を実現する光学フィルタの開発
15:06	情報通信	広島市立大学	目良 和也	相手の声や態度から心の状態を探る
15:14	情報通信	千葉大学	小室 信喜	非接触環境センシングによって心の状態を見える化
15:22	情報通信	高知大学	高田 直樹	目の前に3D映像が浮かぶホログラフィック空中ディスプレイ
15:30	情報通信	秋田大学	齊藤 準	高分解能・強磁場観察可能な磁気顕微鏡用・超常磁性探針
15:38	情報通信	自然科学研究機構 核融合科学研究所	西浦 正樹	規格帯域を超えた高性能GHzフィルタと応用
15:46	情報通信	徳島大学	江本 顕雄	偏光と分光をワンショットで測定できる光学センサー
15:54	情報通信	徳島大学	安井 武史	環境温度変化に強い!温度ドリフト補償型ファイバー・センシング

8.25 金 2日目

プレゼン会場A

■プレゼンテーション時間5分

開始時間	分野	所属機関名	代表研究者名	展示タイトル
11:00	食料・農林水産	岡山県立大学	伊東 秀之	機能性表示食品届出に向けた機能性関与成分の特定
11:08	食料・農林水産	日本大学	高野 晃英	微生物による有用物質の大量生産を光でコントロールできる技術
11:16	食料・農林水産	徳島大学	平田 真樹	食品腐敗菌ライブラリー活用による賞味期限延長と食品ロス削減
11:24	食料・農林水産	奈良先端科学技術大学院大学	高木 博史	酵母・アミノ酸の機能に着目した発酵・醸造食品のイノベーション
11:32	食料・農林水産	埼玉工業大学	長谷 亜蘭	アコースティックエミッションセンシングによる食感評価
11:40	食料・農林水産	大阪産業大学	高浪 龍平	水銀不使用の安全・安心な流水ろ過殺菌装置
11:48	インフラ・安全・社会基盤	創価大学	渡辺 一弘	IoT向け省電力オール光ファイバ水位計測システム
11:56	インフラ・安全・社会基盤	九州工業大学	大村 一郎	コンディションモニタリング用超軽量・小型・低コスト電流センサ
12:04	インフラ・安全・社会基盤	東京農工大学	生田 昂	ppbの有機分子を検出可能にする小型高感度センサ
12:12	インフラ・安全・社会基盤	秋田県立大学	伊東 良太	THz帯での位相計測を可能にする液晶デバイスの開発
12:20	インフラ・安全・社会基盤	東京理科大学	佐中 薫	光ファイバー方式の単一光子光源
12:28	インフラ・安全・社会基盤	近畿大学	三上 勝大	低パワーレーザーで実現させる打音検査
12:36	インフラ・安全・社会基盤	仙台高等専門学校	園田 潤	災害捜索やインフラ点検のための自動走行地中レーダロボット
12:44	インフラ・安全・社会基盤	宮崎大学	塩盛 弘一郎	熱を感じて泡を作って消す! 感温性自己発泡型消火剤
12:52	カーボンニュートラル・環境	東京工業大学	ガレビッチ アンナ	天敵シロキサンから精密機器を守る吸着技術
13:20	カーボンニュートラル・環境	秋田大学	大川 浩一	重質油のアスファルトとマルテンの簡易分離方法の開発
13:28	カーボンニュートラル・環境	岐阜大学	早川 幸男	ブルーアンモニアを原料とした水素発電システム
13:36	カーボンニュートラル・環境	北九州市立大学	今井 裕之	ゼオライトによるパラフィンからの芳香族の効率製造
13:44	カーボンニュートラル・環境	名古屋工業大学	本田 光裕	光触媒殺菌・抗ウイルス効果を持ったナノ/マイクロ繊維
13:52	カーボンニュートラル・環境	東京都立大学	柳下 崇	超高透過性精密ろ過用メンブレンフィルター
14:00	カーボンニュートラル・環境	立命館大学	小林 大造	ひずみ計測の新技術! 光起電力が応答するフィルム型センサ
14:08	カーボンニュートラル・環境	奈良先端科学技術大学院大学	水野 斎	高品質有機ナノ結晶を用いた高輝度有機LEDデバイス
14:16	カーボンニュートラル・環境	山陽小野田市立山口東京理科大学	高頭 孝毅	上からの光だけをカットするルーバー液晶フィルム
14:24	カーボンニュートラル・環境	大阪工業大学	下村 修	弱酸で活性発現! 液型熱潜在性硬化剤
14:32	カーボンニュートラル・環境	大阪工業大学	村田 理尚	塗布可能なn型有機導電性材料の開発
14:50	カーボンニュートラル・環境	佐賀大学	江良 正直	低コストで環境に優しいペロブスカイト太陽電池の新しい作製方法
14:58	カーボンニュートラル・環境	大阪工業大学	松村 吉将	フッ化物イオンの高選択的検出
15:06	カーボンニュートラル・環境	山口大学	岡本 浩明	1%の添加で溶液を固める“低分子化合物” ~有機ゲル化剤~
15:14	カーボンニュートラル・環境	東京農工大学	兼橋 真二	未利用廃棄カシューナッツ殻由来の機能性バイオマスプラスチック
15:22	カーボンニュートラル・環境	東京理科大学	古海 誓一	セルロースを用いたサステナブルな自己修復材料の開発
15:30	カーボンニュートラル・環境	群馬大学	橘 熊野	ベンゼン環からバイオマス由来のビフラン骨格への転換
15:38	カーボンニュートラル・環境	茨城大学	境田 悟志	湿度スイング法を用いた常温で大気からCO2を回収する手法
15:46	カーボンニュートラル・環境	神奈川工科大学	仲竜 誠司	地球温暖化抑制のためのバイオマス資源からのテレフタル酸の製造
15:54	カーボンニュートラル・環境	立命館大学	松井 大亮	機械学習を用いた異種タンパク質の可溶性生産の新技術

8.25 金 2日目

プレゼン会場B

■プレゼンテーション時間5分

開始時間	分野	所属機関名	代表研究者名	展示タイトル
11:00	情報通信	信州大学	岩本 憲泰	ロボット工学から考える曲面状製品を制御可能にする技術
11:08	情報通信	福岡大学	山本 大輔	タンパク質に優しい熱ゆらぎ原子間力顕微鏡測定法
11:16	情報通信	東京農工大学	張 亜	広帯域MEMSセンサとMEMS振動解析装置
11:24	情報通信	京都工芸繊維大学	田中 一品	手の触感を再現する身体接触用ロボットハンド
11:32	情報通信	奈良先端科学技術大学院大学	藤本 雄一郎	思いやりをもったAIによるVRプレゼンテーション訓練
11:40	情報通信	岡山県立大学	渡辺 富夫	人を引き込む身体的インタラクション・コミュニケーション技術
11:48	情報通信	会津大学	富岡 洋一	軽量で故障に強いニューラルネットワークモデルと回路の実現
11:56	情報通信	東京工業大学	徳田 崇	超小型・超低消費電力情報処理システムのコア技術
12:04	情報通信	東京理科大学	河原 尊之	量子コンピューターと同等な計算能力を有する人工知能処理LSI
12:12	情報通信	東京工芸大学	越地 福朗	外観デザインと調和する透明アンテナ
12:20	情報通信	京都工芸繊維大学	上田 哲也	メタマテリアルによる次世代無線通信用アンテナ
12:28	情報通信	慶應義塾大学	三次 仁	バッテリーフリー無線センサ技術
12:36	健康・医療	名古屋市立大学	田上 辰秋	口腔内付着フィルム専用3Dプリンティング技術
12:44	健康・医療	山口大学	柳原 正志	乾燥積層線維芽細胞シートによる創傷被覆材(細胞絆創膏)
12:52	健康・医療	弘前大学	門前 暁	がん放射線治療の高精度化技術
13:20	健康・医療	三重大学	三宅 英雄	DEH-海藻多糖由来の希少糖-
13:28	健康・医療	日本大学	舩廣 善和	安定化と特異的な検出に最強なペプチドタグの開発
13:36	健康・医療	甲南大学	建石 寿枝	生細胞を使わず、薬剤の細胞内での効果を簡便に評価する技術
13:44	健康・医療	東京工業大学	安部 聡	細胞内タンパク質迅速結晶化
13:52	健康・医療	京都工芸繊維大学	熊田 陽一	イムノクロマト検査に適した抗体の設計
14:00	健康・医療	東京農工大学	吉野 大輔	小さな雷“プラズマ”でつくる簡単ナノミスト!
14:08	健康・医療	鳥取大学	野上 敏材	天然・非天然オリゴ糖の液相電解自動合成
14:16	健康・医療	名古屋工業大学	伊藤 洋介	花粉の室内への侵入を防止する帯電吸着網戸の研究
14:24	健康・医療	帯広畜産大学	武田 洋平	植物由来抽出物を有効成分とする新規ウイルス不活化剤
14:32	健康・医療	京都府立大学大学院	田中 俊一	抗体ミメティックを活用する悪性腫瘍の予防・診断・治療
14:50	健康・医療	静岡県立大学	高橋 忠伸	新規おたふくかぜ予防・治療剤
14:58	健康・医療	星薬科大学	眞鍋 史乃	糖鎖機能の解明による新しい創薬技術
15:06	健康・医療	静岡県立大学	原 雄二	膜張力感知チャネルの活性制御による筋疾患治療法開発
15:14	健康・医療	京都府立大学大学院	岩崎 有作	糖尿病治療薬SU剤の血糖降下作用を増強させる技術
15:22	健康・医療	福岡大学	貴田 浩志	神経難病治療のためのペプチドベースの標的指向性遺伝子キャリア
15:30	健康・医療	近畿大学	楠 正暢	品質の揃ったスフェロイド/オルガノイドの高効率生産法
15:38	健康・医療	大阪医科薬科大学	森原 啓文	ファブリー病の新規治療薬の開発
15:46	健康・医療	岩手大学	佐々木 誠	XR技術を用いた口腔ケアスキルの自主訓練/遠隔指導システム
15:54	健康・医療	宇都宮大学	カバリエロ 優子	食品や料理のユニバーサル3Dデジタル栄養表示システム



8.24 木 10:30-12:00

Online配信

セミナー会場

変容する社会課題の解決への挑戦

～食料・エネルギー・生態系サービスの未来を見据えて～

世界的な食料危機や枯渇性エネルギーからの早期脱却、生物資源の過剰消費など、私たちが抱える社会課題は年々深刻化しています。学問分野や組織の壁を超え、多様なステークホルダーと未来を築くために、JST未来社会創造事業の研究者が社会課題解決に挑みます。

未来社会創造事業「顕在化する社会課題の解決」領域概要説明

高橋 桂子 (運営統括 / 早稲田大学総合研究機構グローバル科学知融合研究所 上級研究員・研究院教授)

研究開発課題発表

「開花時刻調節は未来の作物生産を革新するか」

石丸 努 (農研機構中日本農業研究センター 上級研究員)

「光合成に必要な光を透過する農業ハウス用途の波長選択型有機太陽電池の開発」

渡邊 康之 (公立諏訪東京理科大学工学部 教授)

「廃棄バイオマスをを用いた電気化学触媒の合成」

藪 浩 (東北大学材料科学高等研究所 教授 / 主任研究者)

「下水処理場の脱炭素化と豊かな海を同時に実現する未来の循環社会システムを目指して」

足立 真佐雄 (高知大学教育研究部 教授)

「『自然を大切に』が当たり前の社会に向けて -ネイチャーポジティブを実現する九州大学の産学連携プロジェクト」

武田 秀太郎 (九州大学都市研究センター 准教授)

総合討論

高橋 桂子 運営統括 と5名の研究者による総合討論



高橋 桂子



石丸 努



渡邊 康之



藪 浩



足立 真佐雄



武田 秀太郎

(敬称略)



8.25 金 10:30-12:30

セミナー会場

研究開発の俯瞰と潮流

～科学技術イノベーションの動向と日本の活路～

JST 研究開発戦略センター (CRDS) は、国内外の科学技術イノベーションや社会・政策の動向を把握・俯瞰・分析し、「研究開発の俯瞰報告書(2023年版)」を公表しました。本セミナーでは、この活動で見えてきた、主要な科学技術分野を取り巻く現状や今後の展望、AIや量子を含む注目トピックスとともにCRDS独自の視点で解説します。

イントロダクション

セミナー

「科学技術・イノベーションを取り巻く国際情勢と新潮流」

長谷川 貴之 (CRDSフェロー)

「カーボンニュートラル実現に向けた研究開発動向」

中村 亮二 (CRDSフェロー)

「社会の変化と世界の動向から展望するマテリアル研究開発の重要課題」

福井 弘行 (CRDSフェロー)

「プラネタリーヘルス～人と地球の健康の両立～」

小泉 聡司 (CRDSフェロー)

「情報技術の3つのトレンドと生成AIのインパクト」

福島 俊一 (CRDSフェロー)

「未来を拓く量子情報科学」

嶋田 義皓 (CRDSフェロー)

質疑応答

※終了後、セミナー会場横にてネットワーキングを開催



長谷川 貴之



中村 亮二



福井 弘行



小泉 聡司



福島 俊一



嶋田 義皓

研究開発戦略センター (CRDS) ホームページはこちらから▶
 (https://www.jst.go.jp/crds/)





8.24(木) 15:00-17:00

併催事業

 二部制
セミナー会場

大学発ベンチャー表彰2023 表彰式

「大学発ベンチャー表彰～Award for Academic Startups～」は、今年で10年目を迎えました。大学等^(注)の成果を活用して起業したベンチャーのうち、今後の活躍が期待される優れた大学発ベンチャーを表彰するとともに、特にその成長に寄与した大学や企業などを表彰します。

(注)大学等：国公立大学、高等専門学校、国立試験研究機関、公立試験研究機関、国立研究開発法人、公益法人等の非営利法人

第一部【表彰式】15:00-16:10 / 第二部【受賞者ピッチプレゼンテーション】16:30-17:00

開会挨拶

橋本 和仁 (国立研究開発法人科学技術振興機構 理事長)

選考委員長講評

野長瀬 裕二 (大学発ベンチャー表彰選考委員長・摂南大学経済学部 教授)

受賞企業 表彰式



文部科学大臣賞  CELLUSION

株式会社セルージュン 代表取締役社長CEO 羽藤 晋
支援大学：慶應義塾大学 医学部 眼科学教室 特任教授 榎村 重人
支援企業：株式会社ニコン・セル・イノベーション 代表取締役 中山 稔之
事業内容：水疱性角膜症に対するiPS細胞を用いた角膜再生医療の研究開発



経済産業大臣賞  Elephantech

エレファンテック株式会社 代表取締役社長兼CTO 清水 信哉
支援大学：東京大学 大学院工学系研究科 教授 川原 圭博
事業内容：インクジェット印刷を用いた独自のアディティブ製法による低環境負荷電子回路基板の製造・販売



科学技術振興機構理事長賞  Cosomil

コウソミル株式会社 代表取締役 鉤味 優
支援大学：東京大学 大学院薬学系研究科 助教 小松 徹
支援企業：ANRI株式会社 プリンシパル 宮崎 勇典
事業内容：酵素活性の1分子計測リキッドバイオプシー技術による 疾患早期診断と医薬品開発支援



新エネルギー・産業技術総合開発機構理事長賞  Tsubame BHB

つばめBHB株式会社 代表取締役CEO 中村 公治
支援大学：東京工業大学 国際先端研究機構 元素戦略MDX研究センター 荣誉教授 細野 秀徳
支援企業：味の素株式会社 代表執行役社長 藤江 太郎
事業内容：アンモニア合成触媒の開発、小規模分散型アンモニア生産システムの販売



日本ベンチャー学会会長賞  Pale Blue

株式会社Pale Blue 共同創業者 兼 代表取締役 浅川 純
支援大学：東京大学 大学院新領域創成科学研究科
基盤科学研究系 先端エネルギー工学専攻・准教授 小泉 宏之
事業内容：「水」を推進剤とした、小型衛星用推進機の開発



アーリーエッジ賞  FerroptoCure

株式会社FerroptoCure(フェロトキュア) 代表取締役CEO 大槻 雄士
支援大学：慶應義塾大学 医学部 名誉教授 佐谷 秀行
事業内容：世界初のフェロトシス創薬の実現



大学発ベンチャー表彰特別賞  Gellycle

ジェリクル株式会社 代表取締役CEO 増井 公祐
支援大学：東京大学 工学部化学系生命工学科教授 酒井 崇匡
事業内容：テトラゲルを利用した医薬品・医療機器(Gel Medicine)の研究開発等

閉会挨拶

斎藤 保 (国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 理事長)



8.25 金 13:30-16:30

併催事業

Online配信

セミナー会場

ムーンショット型研究開発制度 合同シンポジウム ～「ムーンショット×ムーンショット」で生み出す破壊的イノベーション～

各ムーンショット目標を統括するリーダーたちは、どんな未来社会を目指すのか。
 2040、50年の未来社会を展望し、ロボット・AI、健康医療、地球環境、食と農業、量子、気象、こころなど
 様々な分野のプロフェッショナルがパネルディスカッションを行い、未来社会の創造と、その実現に向けた新たな取組みを発掘します。

基調講演

[Nobel Turing Challenge
 -- The grand challenge for transforming scientific research]

北野 宏明 (ソニーグループ株式会社 執行役 専務 CTO/沖縄科学技術大学院大学 教授)



北野 宏明

パネルディスカッション

テーマA

[楽しい「人生100年時代」をどう実現するか。]

～目標1アバター×目標3AI×目標7健康医療～

ファシリテーター 松島 倫明 (IWIRED) 日本版 編集長)

パネリスト 落合 陽一 (メディアアーティスト)

宮本 隆史 (社会福祉法人 善光会 理事 兼 統括施設局長/
 株式会社 善光総合研究所 代表取締役社長)

萩田 紀博 (ムーンショット目標1プログラムディレクター/
 大阪芸術大学 学科長・教授)

福田 敏男 (ムーンショット目標3プログラムディレクター/
 名古屋大学 未来社会創造機構 客員教授)

平野 俊夫 (ムーンショット目標7プログラムディレクター/
 大阪大学 名誉教授・前総長)



松島 倫明



落合 陽一



宮本 隆史



萩田 紀博



福田 敏男



平野 俊夫

テーマB

[豊かな「食・こころ・身体」をどう実現するか。]

～目標2未病×目標5農業・食料×目標9こころ～

ファシリテーター 中村 尚樹 (ジャーナリスト/法政大学 社会学部 非常勤講師)

パネリスト 鄭 雄一 (東京大学大学院 工学系研究科・医学系研究科 教授/
 神奈川県立保健福祉大学 理事・副学長、
 大学院ヘルスイノベーション研究科 研究科長)

柳原 直人 (富士フイルム株式会社 取締役 常務執行役員/
 知的財産本部管掌)

祖父江 元 (ムーンショット目標2プログラムディレクター/
 愛知医科大学 理事長・学長)

千葉 一裕 (ムーンショット目標5プログラムディレクター/
 東京農工大学 学長)

熊谷 誠慈 (ムーンショット目標9プログラムディレクター/
 京都大学 人と社会の未来研究院 准教授)



中村 尚樹



鄭 雄一



柳原 直人



祖父江 元



千葉 一裕



熊谷 誠慈

テーマC

[持続可能な「地球環境」をどう実現するか。]

～目標4環境×目標6量子×目標8気象～

ファシリテーター 松島 倫明 (IWIRED) 日本版 編集長)

パネリスト 西口 尚宏 (一般社団法人 GEN Japan(Global Entrepreneurship Network)
 代表理事・マネージングディレクター)

佐藤 康司 (ENEOS株式会社 執行役員/中央技術研究所長)

山地 憲治 (ムーンショット目標4プログラムディレクター/
 地球環境産業技術研究機構 理事長)

北川 勝浩 (ムーンショット目標6プログラムディレクター/
 大阪大学大学院 基礎工学研究科 教授)

三好 建正 (ムーンショット目標8プログラムディレクター/
 理化学研究所 計算科学研究センター チームリーダー)



松島 倫明



西口 尚宏



佐藤 康司



山地 憲治



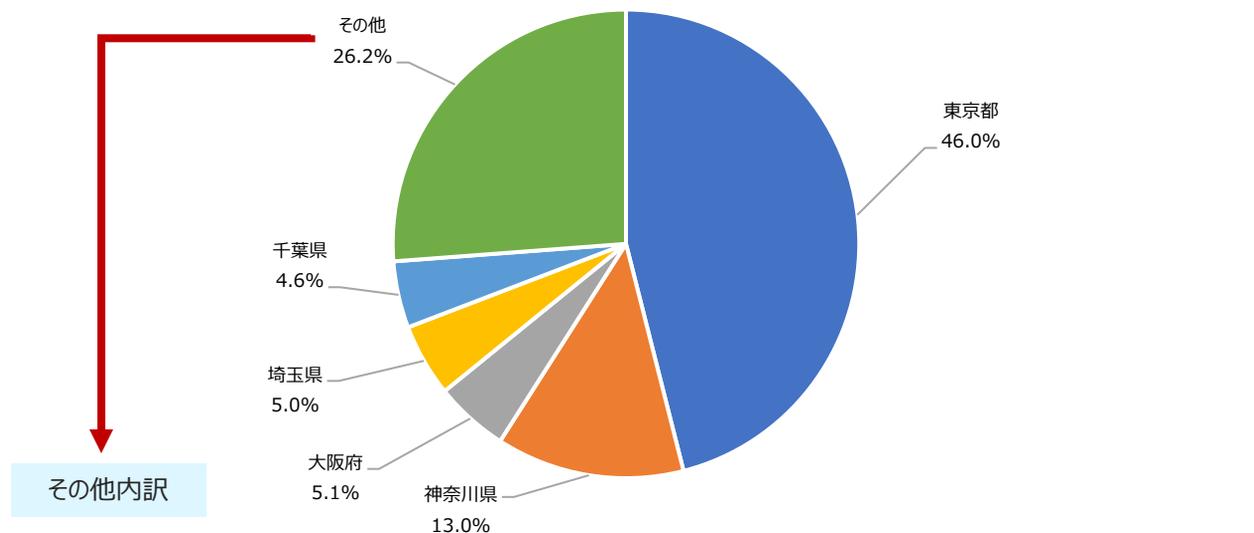
北川 勝浩



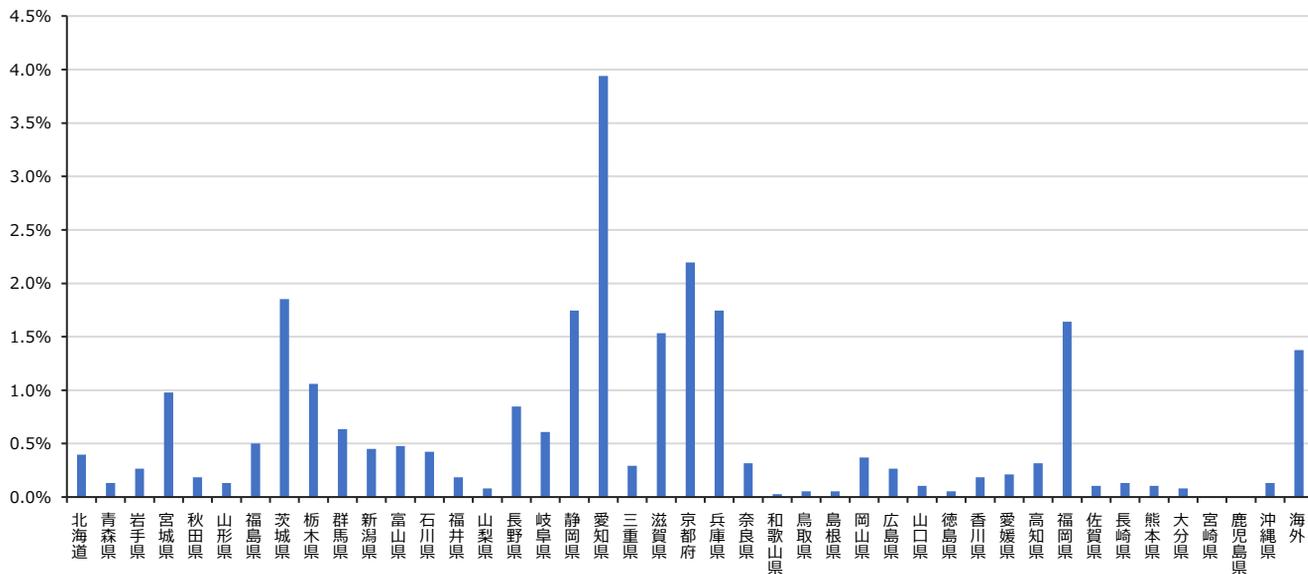
三好 建正

4.来場者属性調査結果

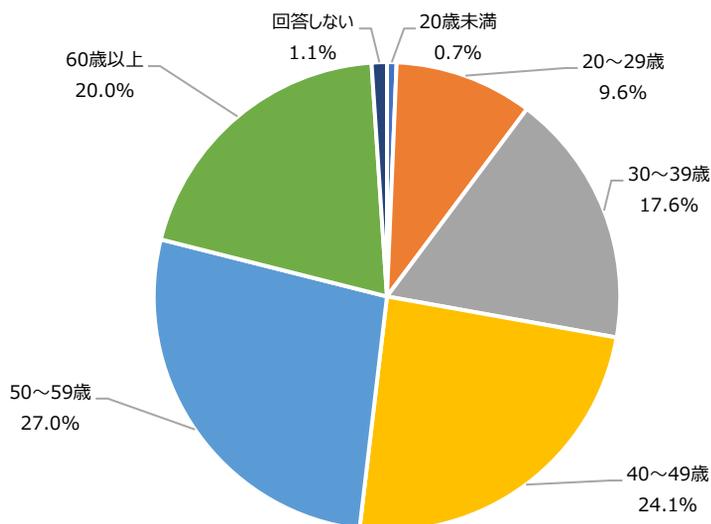
来場者所在地（都道府県）



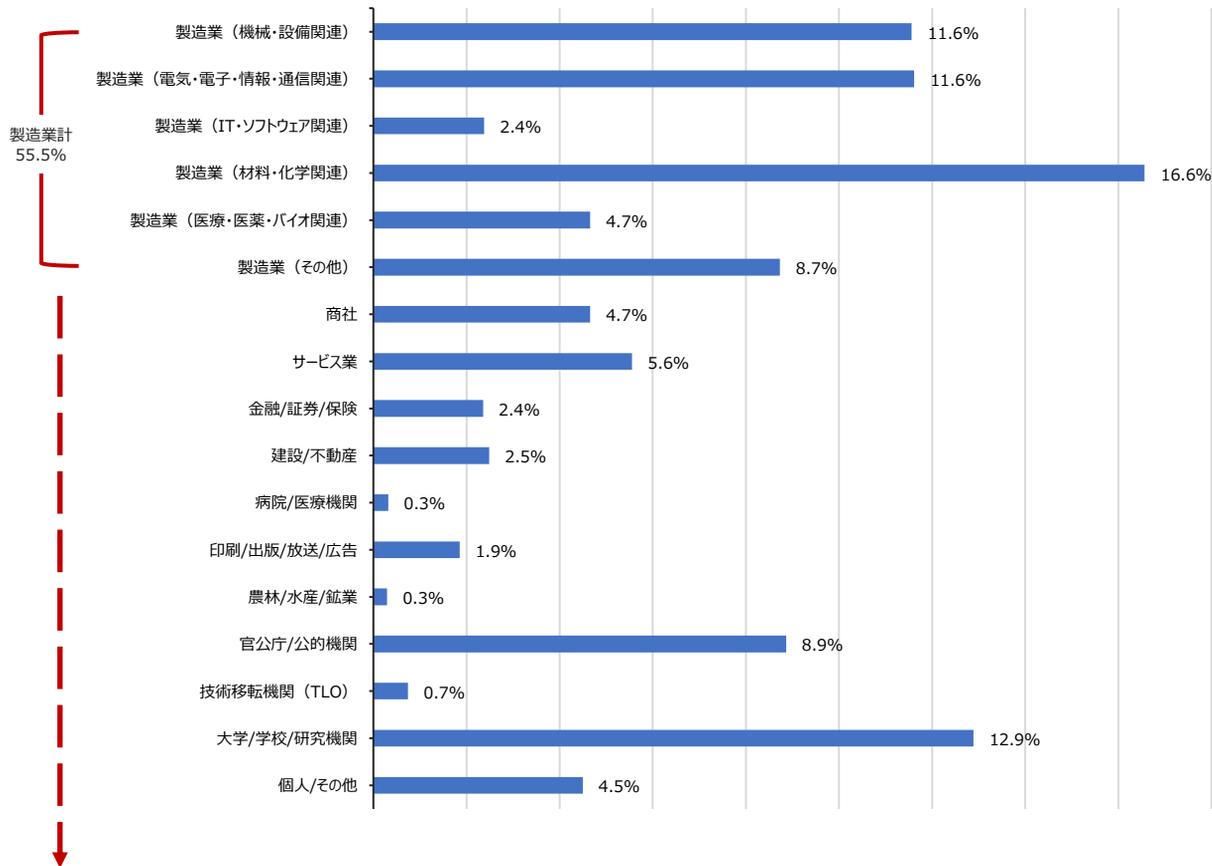
その他内訳



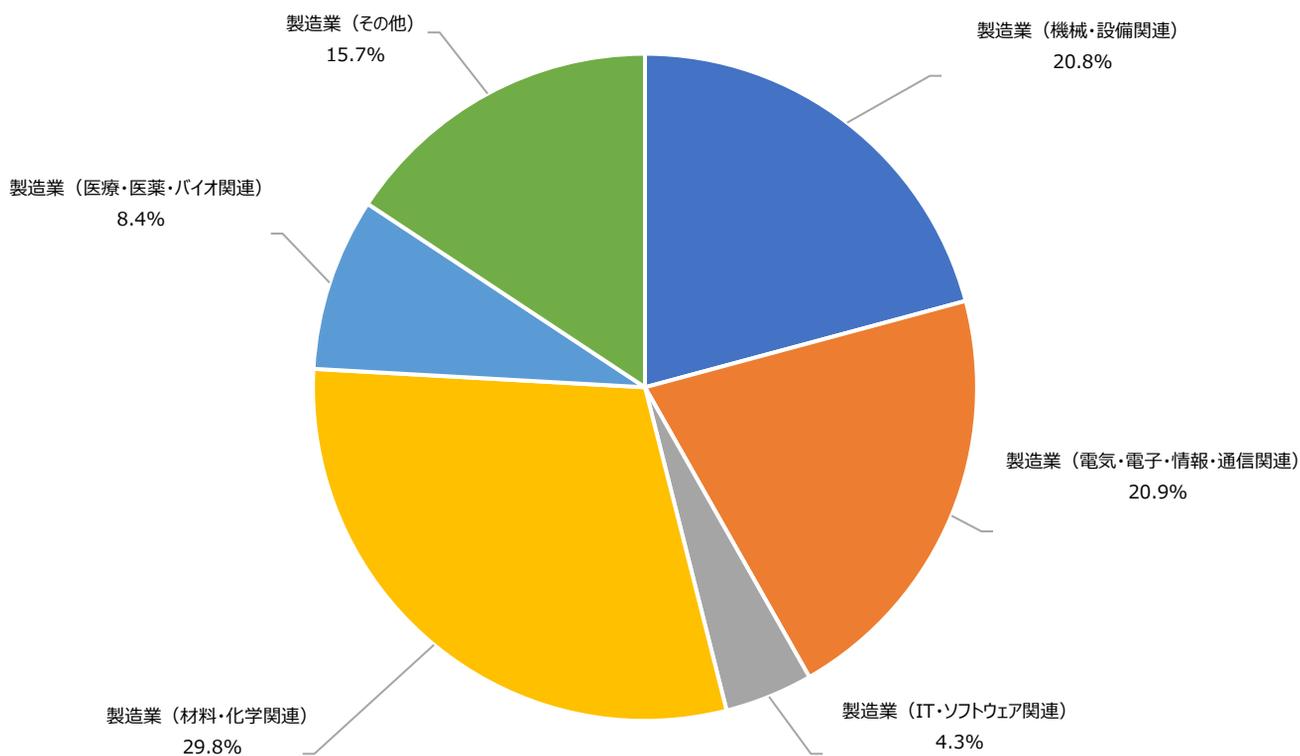
あなたの年齢をおきかせください



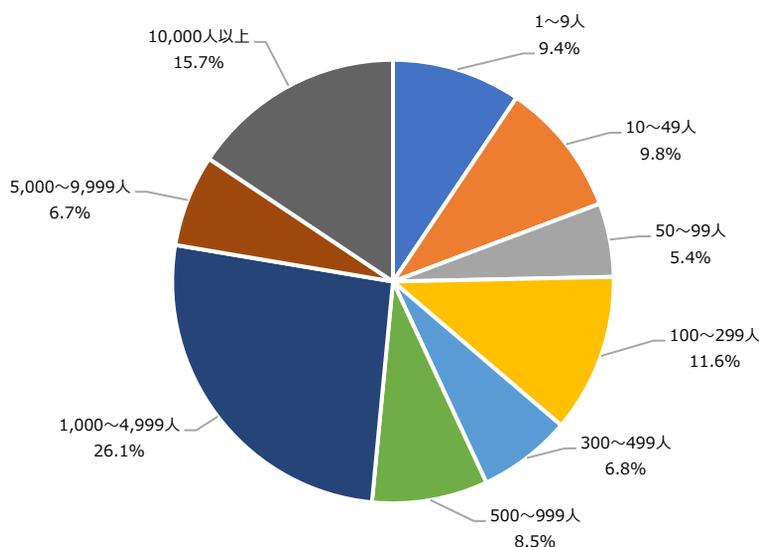
あなたの所属先の業種をお聞かせください



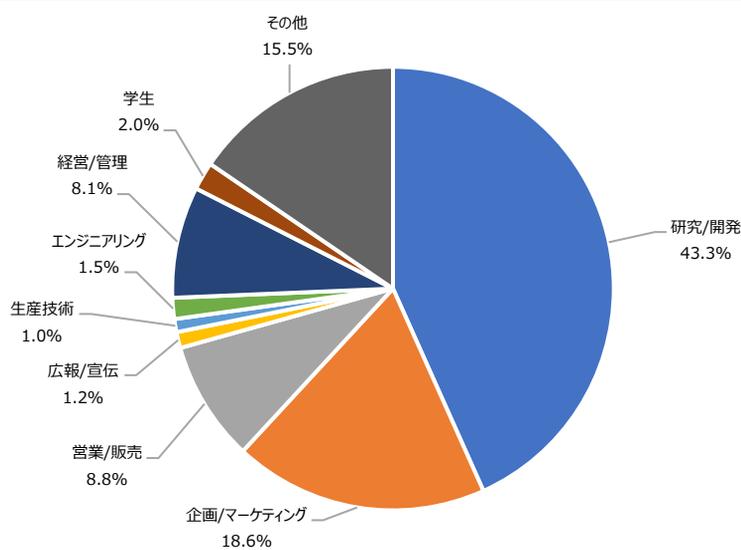
製造業内訳



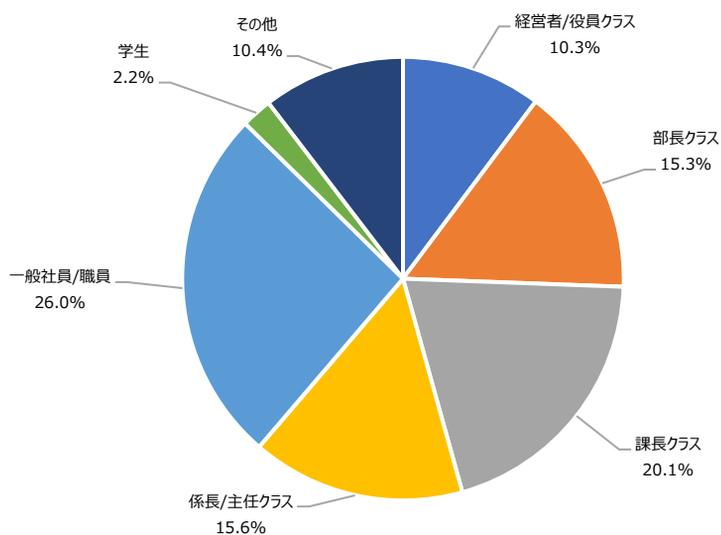
あなたの所属先の規模をお聞かせください



あなたの職種をお聞かせください

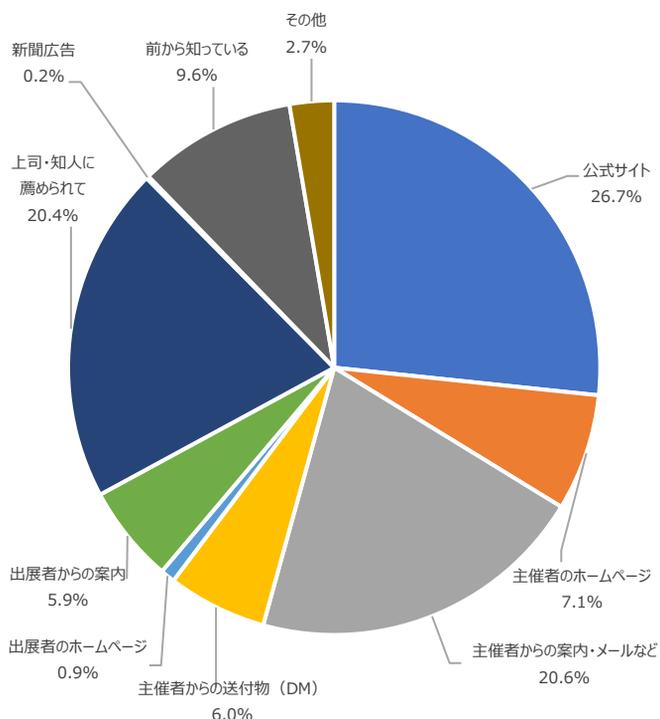


あなたの役職をお聞かせください

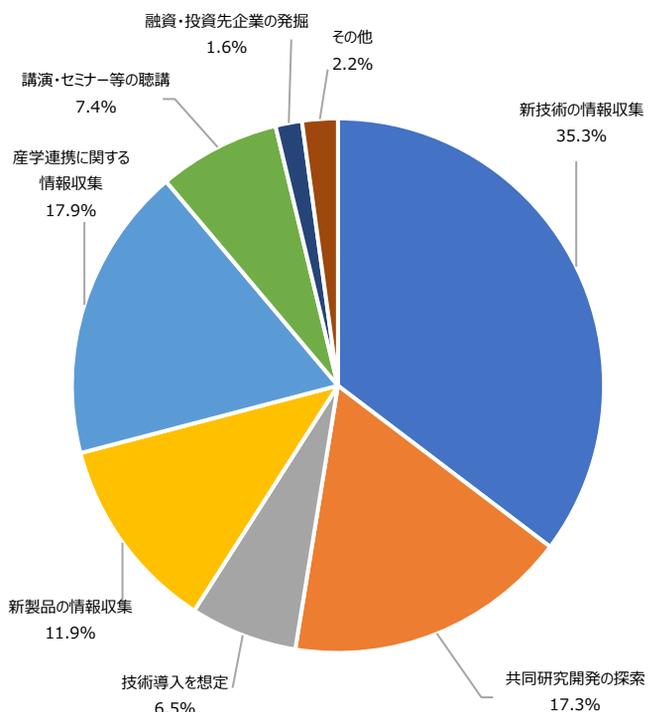


4-1.来場者属性 調査結果

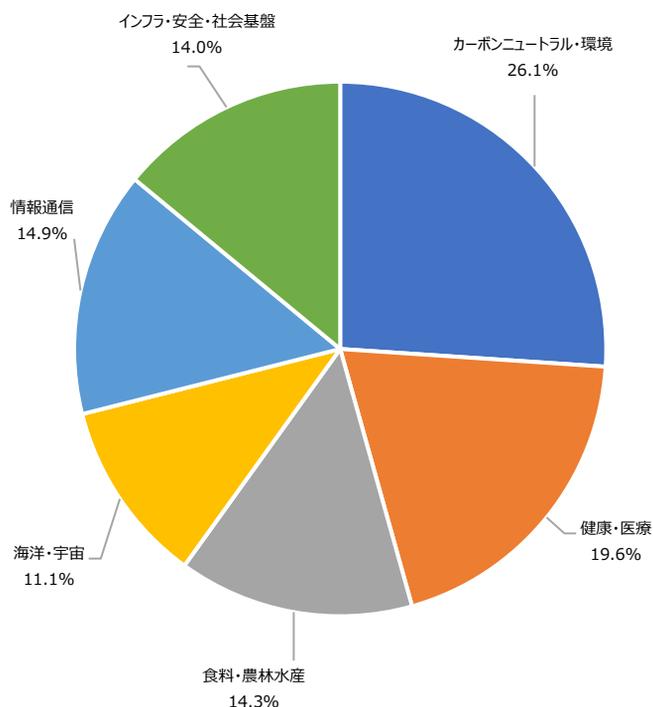
展示会情報の入手経路をお聞かせください（複数回答可）



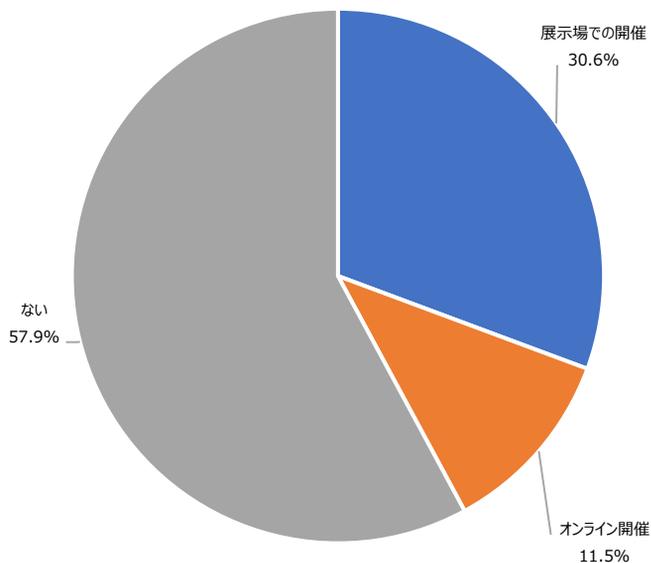
来訪目的をお聞かせください（複数回答可）



関心ある出展分野をお聞かせください（複数回答可）



過去の参加経験をお聞かせください（複数回答可）

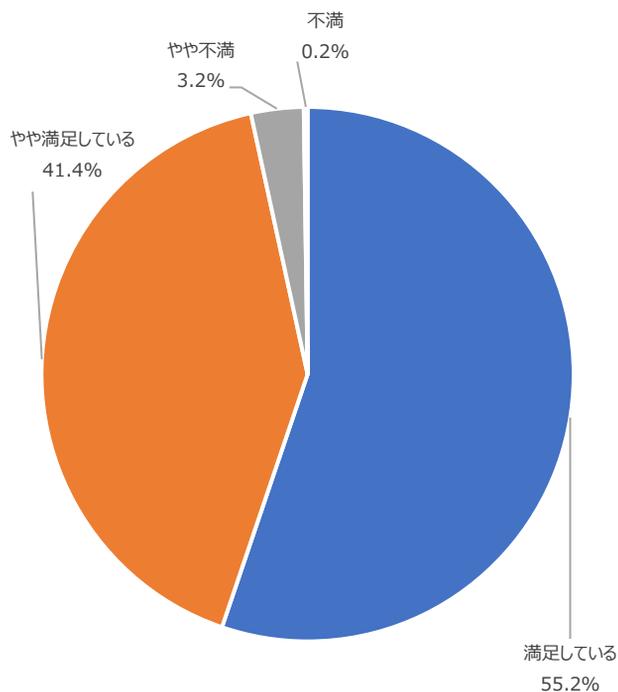


5.来場者アンケート調査結果

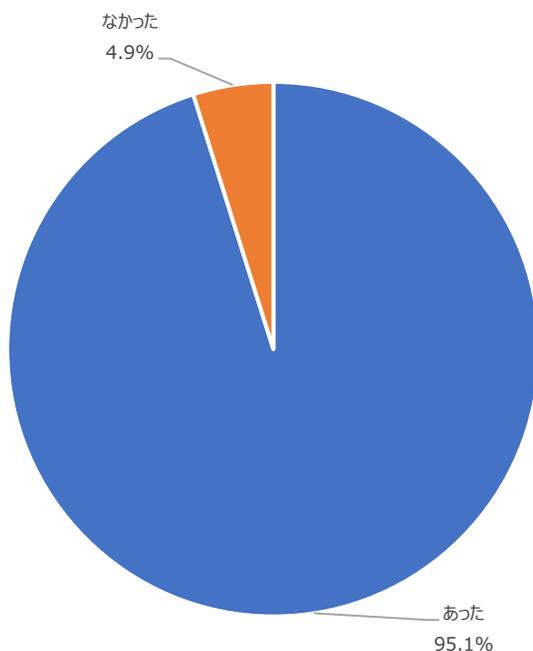
調査方法：「大学見本市2023～イノベーション・ジャパン」来場者を対象としたアンケート自記入式&WEBアンケート
有効回答数：1,314件

「大学見本市2023」への満足度は「満足している」が55.2%となり、前回オンライン開催時の28.9%から大幅に向上した。全体的な満足度としても、「満足している」「やや満足している」96.6%となり、前回の89.2%から7.4%増となった。

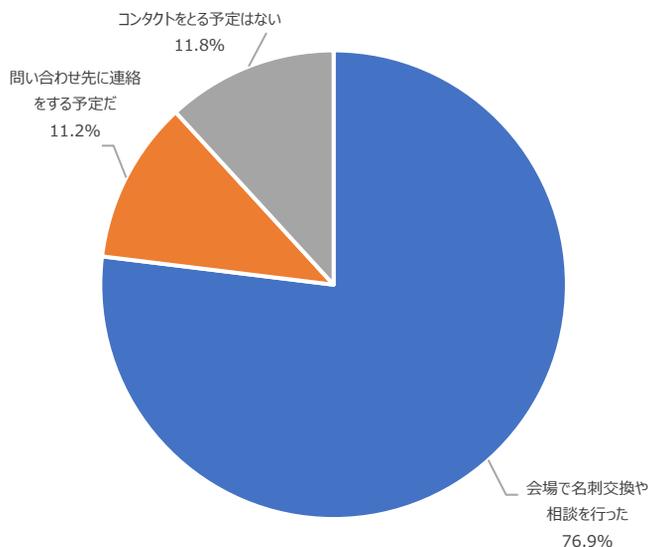
Q1.大学見本市2023の満足度についてお聞かせください。



Q2.展示内容について具体的に関心をもたれた技術・研究課題がありましたか。



Q3.出展者とのコンタクトについてお聞かせください。

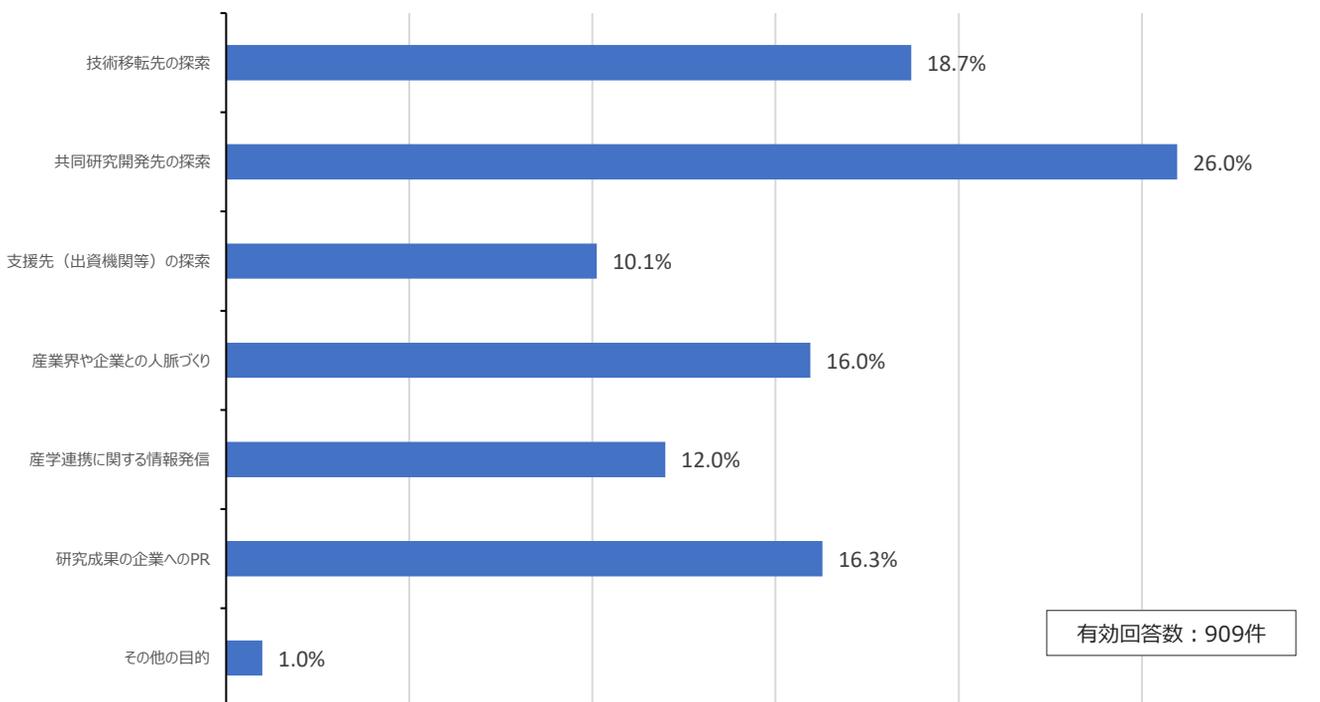


6.出展者アンケート調査結果

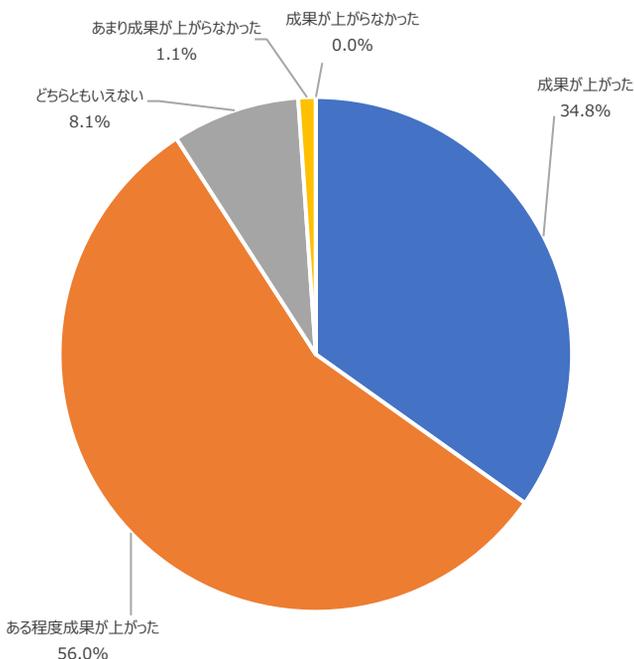
調査方法：「大学見本市2023～イノベーション・ジャパン」出展者を対象としたアンケート自記入式
有効回答数：276件

出展目的に対する成果は「成果が上がった」が34.8%、「ある程度成果が上がった」が56.0%と、あわせて全体の90.8%を占めている。2022年（オンライン開催）の41.1%から大幅増となっている。全体の満足度においても、「満足している」が69.0%、「やや満足している」が29.6%と、全体の98.6%を占めており、前回の73.7%から大きく増加。対面形式での開催が大きな成果に繋がっていることが示されている。

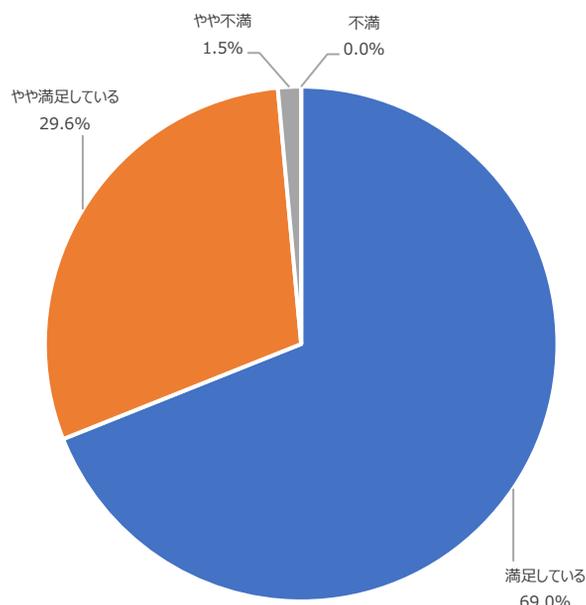
Q1.出展目的をお聞かせください。（複数回答数可）



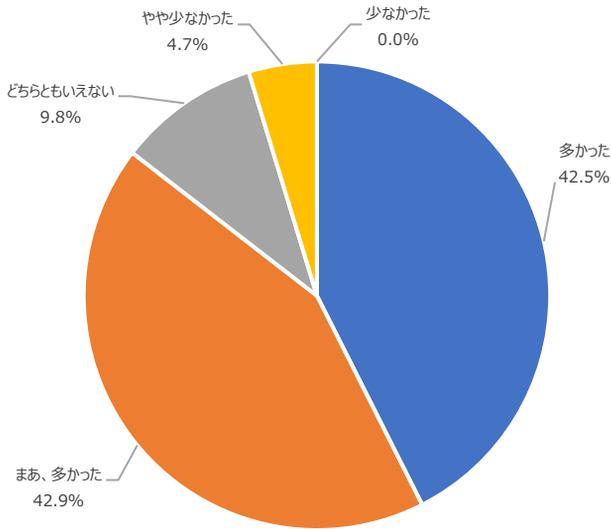
Q2. 出展目的に対する成果はいかがでしたか。



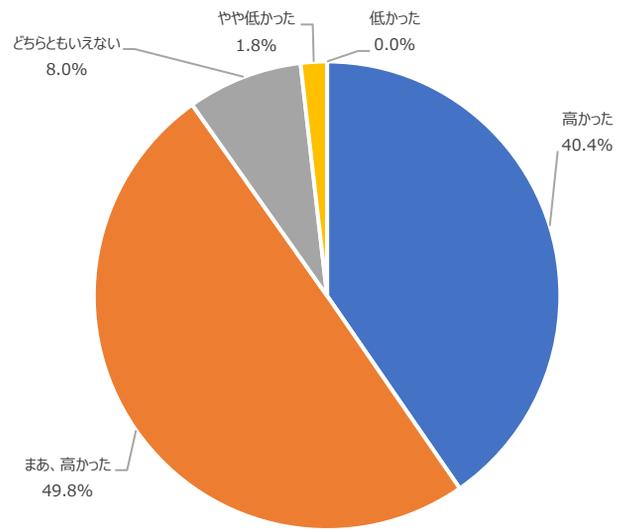
Q3. 出展した満足度をお聞かせください。



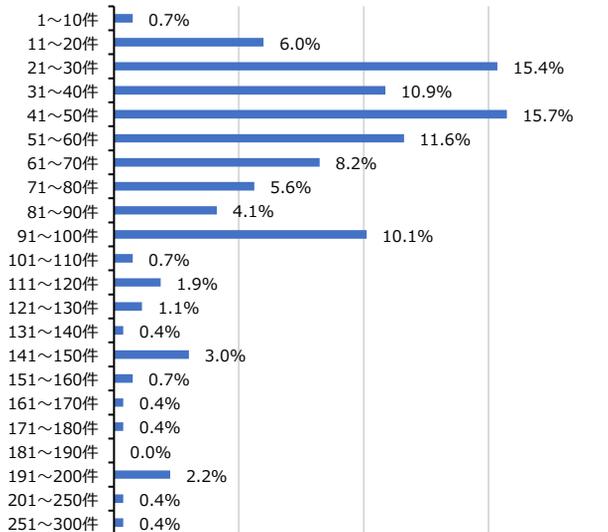
Q4. 来場者数について、どう感じになりましたか。



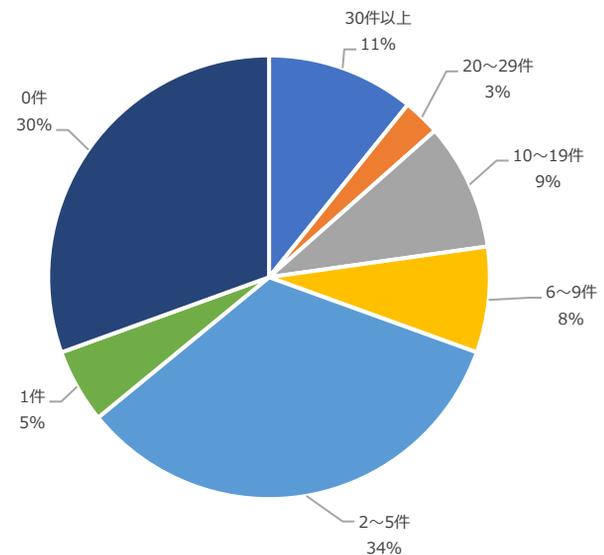
Q5. 展示された内容に対する来場者の関心はいかがでしたか。



Q6. 1) 来場者や他の出展者などから、名刺交換、問い合わせ、商談、交渉などはどの程度ありましたか。



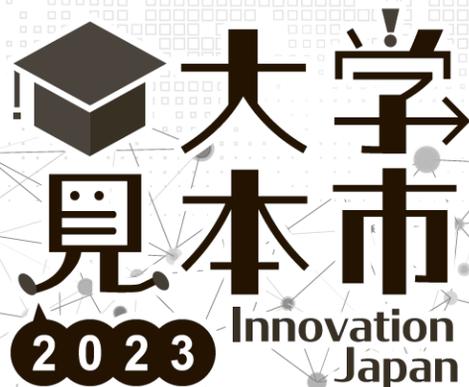
Q6. 2) 商談・交渉の件数



7. 広報活動

●全5段広告：日経産業新聞（全国版）8月2日（水）朝刊

日本最大級の産学連携イベントが東京ビッグサイトで4年ぶりの対面開催！


 大学
見本市
2023
Innovation
Japan

**入場
無料**

※来場登録制

2023.8.24 10:00
17:30 25 10:00
17:00

東京ビッグサイト 南1ホール（東京都江東区有明3-11-1）

主催：科学技術振興機構 共催：内閣府、文部科学省

後援：一般社団法人日本経済団体連合会、公益社団法人経済同友会、日本商工会議所、東京商工会議所

- ▶ 125大学等機関・276件の最新技術シーズが出展
- ▶ 研究者自らブースで説明！その場で相談質問可能！
- ▶ 大学等技術シーズは全て特許取得済み！（出願中含む）

主要科学分野を取巻く現状や展望を解説する『研究開発の俯瞰と潮流』等注目のセミナーも開催！

事前登録でスムーズ入場！来場登録・セミナー等お申込みはこちらから

<https://innovationjapan.jst.go.jp>
**併催
事業**

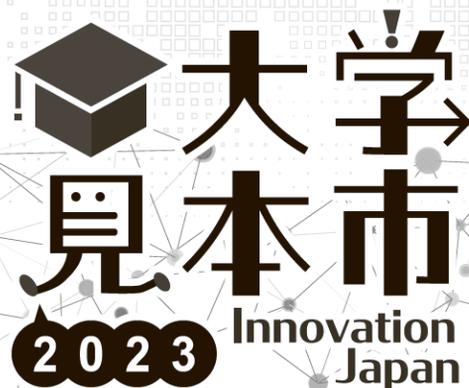
大学発ベンチャー表彰 2023 表彰式

ムーンショット型研究開発制度 合同シンポジウム
～「ムーンショット×ムーンショット」で生み出す破壊的イノベーション～

<大学見本市 2023 問い合わせ窓口> 株式会社アルファネット内 TEL: 03-6228-4082 mail: visit_ij2023@alfanet.jp 月～金曜日（土・日・祝日除く）10:00～17:00

●全5段広告：日経産業新聞（全国版）8月23日（水）朝刊

日本最大級の産学連携イベントが東京ビッグサイトで4年ぶりの対面開催！


 大学
見本市
2023
Innovation
Japan

**入場
無料**

※来場登録制

2023.8.24 10:00
17:30 25 10:00
17:00

東京ビッグサイト 南1ホール（東京都江東区有明3-11-1）

主催：科学技術振興機構 共催：内閣府、文部科学省

後援：一般社団法人日本経済団体連合会、公益社団法人経済同友会、日本商工会議所、東京商工会議所

**開催目前！
明日から開催**

- ▶ 125大学等機関・276件の最新技術シーズが出展

- カーボンニュートラル・環境 83件
- 健康・医療 90件
- 食料・農林水産 21件
- 海洋・宇宙 4件
- 情報通信 48件
- インフラ・安全・社会基盤 30件

全て特許取得済（出願中含む）、研究者が説明等を行いその場で質問や相談が可能です。

事前登録でスムーズ入場！来場登録はこちらから

<https://innovationjapan.jst.go.jp>
**併催
事業**

大学発ベンチャー表彰 2023 表彰式

ムーンショット型研究開発制度 合同シンポジウム
～「ムーンショット×ムーンショット」で生み出す破壊的イノベーション～

<大学見本市 2023 問い合わせ窓口> 株式会社アルファネット内 TEL: 03-6228-4082 mail: visit_ij2023@alfanet.jp 月～金曜日（土・日・祝日除く）10:00～17:00

8.公式サイト

●TOPページ

HOME 開催概要 出展者一覧 JST・その他展示 セミナー・シンポジウム 公式ガイドブックなど 大学見本市とは
FAQ

2023 Innovation Japan

入場無料 (来場登録制)

会期 2023年8月24日(木)、8月25日(金)

国内最大規模の産学連携マッチングイベント4年ぶりに東京ビッグサイトで開催

●開催概要

開催概要

「大学見本市～イノベーション・ジャパン」は、全国の大学や公的研究機関等から創出された研究成果の社会還元、技術移転を促進すること、及び、実用化に向けた産学連携等のマッチング支援を実施することを目的として、2004年から国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が開催しています。本年はアカデミアと企業、研究者間の交流および情報収集や連携の場として4年ぶりの展示場での開催となり、全国の大学等機関の技術シーズ展示をメインにムーンショット型研究開発制度、JSTスタートアップ支援事業、政府系スタートアップ連携支援機関の展示等を行います。

名称	大学見本市2023～イノベーション・ジャパン
会期	2023年8月24日（木）10:00～17:30、25日（金）10:00～17:00
会場	東京ビッグサイト 高1ホール 東京都江東区有明3-11-1
入場	無料・来場事前登録制 ※本サイトでの登録が必要です
主催	JST 国立研究開発法人 科学技術振興機構
共催	内閣府、文部科学省
後援	一般社団法人日本経済団体連合会、公益社団法人経済同友会、日本商工会議所、東京商工会議所
併催事業	大学発ベンチャー表彰2023 表彰式 ～Award for Academic Startups～ ムーンショット型研究開発制度 合同シンポジウム ～「ムーンショットXムーンショット」で生み出す破壊的イノベーション～

●出展者検索

出展技術シーズ検索

分野:

キーワードで探す:

分野: カーボンニュートラル・環境 小冊番号: C-57

名古屋工業大学 / 助教 林 幹大
デジタルフォトバタニング装置が動くマルチマテリアル印刷

[出展ページはこちら](#)

分野: カーボンニュートラル・環境 小冊番号: C-17

鳥取大学 / 准教授 薄井 洋行
次世代車電産を実現するマルチ型酸化チタン負極材料

[出展ページはこちら](#)

分野: カーボンニュートラル・環境 小冊番号: C-01

大阪公立大学 / 准教授 高橋 和
小型人工知能用の専電検知センサ開発

[出展ページはこちら](#)

分野: 情報通信 小冊番号: I-07

同志社大学 / 教授 小山 大介
超音速による小型・薄型可変焦点レンズ

[出展ページはこちら](#)

[もっと見る](#)

●JSTその他展示

JST・その他展示

JSTスタートアップ出資・支援事業

SUCCESSは研究開発成果の実用化を促すベンチャー精神にあふれる方々を支援する制度です。
出資型新事業創出支援プログラム (SUCCESS) 事業サイトは[こちら](#)から。

[出資型新事業創出支援プログラムおよび出資先の紹介・紹介企業へ](#)

CAU株式会社 / 大阪大学ベンチャー企業

「ゲノム編集技術(CRISPR/Cas)を用いた遺伝子治療法の開発」

bitBiome株式会社 / 京都大学ベンチャー企業

「シングルセル技術を用いた微生物のゲノム解析」

株式会社サイフューズ / 九州大学ベンチャー企業

「3D印刷部品」の実用化を目指す再生医療スタートアップ」

JST大学発スタートアップ創成支援事業成果展示「グランドグリーン株式会社」

■JST「大学発新事業創出プログラム」(START) 成果展示

「研究開発推進事業」の「大学発新事業創出プログラム」プロジェクト推進型「起業支援」の成果を通して、「緑化から、無農薬の可能性を。」を事業コンセプトに鑑み、名古屋大学で創設された「グランドグリーン株式会社」をご紹介します。

研究開発推進事業大学発新事業創出プログラム (START) 事業サイトは[こちら](#)から

展示企業

グランドグリーン株式会社 / 名古屋大学ベンチャー企業

次世代の食糧を創出する研究開発型のアグリバイオスタートアップ

JSTマッチングプランナー制度

JSTの「マッチングプランナー」は、全国各地のオフィスに駐在し、企業などが直面している解決すべき技術的課題（ニーズ）とそれの解決につながる大学などの研究開発成果、知財情報（シーズ）を結び専門人材です。お気軽にご相談ください。

ASTEP マッチングプランナー制度ご紹介は[こちら](#)から

[マッチングプランナーによるシーズのご紹介](#)

『視覚的注意に基づいた情報入力装置』

宇都宮大学工学部基礎工学科 助教 金成 基

"Information input device based on visual attention"

Utsunomiya University Assistant Professor Kanari Kai

分野：健康 / 視覚を動かさずに文字などの情報を入力できる手法

[詳細はこちら](#)

『コメ中に含まれるカドミウム含量簡便定量のための化合物探索』

奈良女子大学研究理工学系工学領域 教授 三方 祐典

"Development of compounds for convenient quantification of cadmium content in rice"

Nara Women's University Professor Mikata Yuji

分野：食料 / 農林水産 / コメ中のカドミウムを高感度・高精度かつ簡便・安価に検出するシステムの開発

[詳細はこちら](#)

JST所有特許技術紹介

JSTの事業から、大学や研究機関で発明された技術を基に国内外に特許出願を行い、そのライセンス等、特許の活用を通して発明技術の社会実装を推進しています。

JSTの所有特許は約2,500件。ライフサイエンス、ナノテクノロジー・先端材料、電子・機械・光学、環境・エネルギー・情報通信と多岐にわたる技術領域の中から選りすぐりの特許ファミリー【約10件の技術概要を記載した小冊子】を配布します。

JSTが保有する特許・特許出願の発明はホームページでも公開しています。

[ご紹介お問い合わせはこちら](#)

戦略的創造研究推進事業にて採択された技術シーズ

さきがけ採択課題『都市の未来予測と意思決定を支える時空間AI技術』

京都大学大学院情報科学研究科知能情報学専攻 助教 竹内 孝

"Spatio-temporal AI for Forecasting Future Cities and Supporting Decision-Making"

Kyoto University Assistant Professor Takeuchi Koh

分野：インフラ・安全・社会基盤 / 都市から計測される移動と行動のデータを時間と空間の観点から分析し、都市の未来の状態を予測するAI技術を開発しています。

CREST採択課題『高分子微粒子による劣化しないマテリアルリサイクル』

信州大学大学院工学部化学系 准教授 鈴木 大介

"Closed-loop recycling of microparticle based polymer materials"

Shinshu University Associate Professor Suzuki Daisuke

分野：カーボンニュートラル・環境 / 高分子の重みを数ナノメートル程度のサイズに微粒子化し、それらを集積して高分子系材料を形成することで、従来は難しいとされてきた高分子材料の強靱性と優れた分解性の両立が可能であることを発見しました。

[詳細はこちら](#)

CREST採択課題『触感のある空中映像』

東京大学大学院新領域創成科学研究科情報理工学専攻 教授 篠田 祐之

"Aerial imaging with tactile feedback"

The University of Tokyo Professor Shinoda Hiroyuki

分野：情報通信 / 空中超音波によって非接触で触覚を提示し、触感のある映像を作り出します。小動物や親子の触感なども再現されます。「触る」空中映像の世界初のデモです。

[詳細はこちら](#)

ACT-X採択課題『AIが生成した教材も自動評価する技術』

東京大学大学院教育学部教育科学分野 准教授 江原 暁

"Technology for Automatic Evaluation of Tests that are Generated Automatically"

Tokyo Gakuai University Associate Professor Ebata Yo

分野：情報通信 / 外国語学習支援を中心に、個々の学習状況に合わせてテキストを自動評価する技術を開発しています。

[詳細はこちら](#)

JST未来社会創造事業

未来社会創造事業は、社会・産業ニーズを踏まえ、経済・社会的にインパクトのあるターゲットを明確に認識した技術的にチャレンジングな目標を設定し、実用化が期待される段階（概念実証：POC）を目指した研究開発を実施します。今回は「自動化する社会課題の解決」領域から研究課題の一部をご紹介します。

未来社会創造事業ホームページは[こちら](#)から

8月24日（木）10:30~12:00 セミナー開催お申し込みは[こちら](#)から（セミナーページ）

Plus (Platform for unified support for startups)

政府系16機関連携スタートアップ支援プラットフォーム

NEDOを含む政府系16機関は、スタートアップ支援を目的として、「スタートアップ・エコシステムの形成に向けた支援に関する協定」を締結し、スタートアップ支援に関するプラットフォーム（連携Plus（プラス））"Platform for unified support for startups"）として連携しています。

ご紹介内容・フェーズに合わせて各支援制度のご紹介等を行っていますので、お気軽にお立ち寄りください。

ワンストップ相談窓口「Plus One（プラスワン）」は[こちら](#)から

ムーンショット型研究開発制度エリア

「ムーンショット」とは、人々を魅了する野心的な目標を抱いて世界中の研究者の知見を結集しながら困難な社会課題の解決を目指す。抜群的な研究開発を進める研究開発制度です。ロボット・AI、健康医療、地球環境、食と農業、豊か、気象、こころなど全領域について、デモを交えて研究内容を紹介します。

43

●セミナー・シンポジウム

セミナー・シンポジウム



**未来社会
創造事業**

セミナー

「変容する社会課題の解決への挑戦 - 食料・エネルギー・生態系サービスの未来を見据えて -」

セミナー会場
8/24 (木) 10:30~12:00



**2023
Award for
Academic Startups**

併催事業

大学発ベンチャー表彰2023
表彰式~Award for Academic Startups~

セミナー会場
8/24 (木) 15:00-17:00



CRDS
研究開発戦略センター
Center for Research and
Development Strategy
Advanced Research Strategy

セミナー

「研究開発の俯瞰と潮流 ~科学技術イノベーションの動向と日本の活路」

セミナー会場
8/25 (金) 10:30~12:00



MOONSHOT
RESEARCH & DEVELOPMENT PROGRAM

併催事業

「ムーンショット型研究開発制度 合同シンポジウム ~「ムーンショット×ムーンショット」で生み出す破壊的イノベーション~」

セミナー会場
8/25 (金) 13:30~16:30

出展研究者ショートプレゼンテーション
【プレゼン会場A】

技術シーズのショートプレゼン

- カーボンニュートラル・環境
- 海洋・宇宙 (8/24のみ)
- 食料・農林水産
- インフラ・安全・社会基盤

プレゼン会場A
8/24 (木) 11:00~16:00
8/25 (金) 11:00~16:00

出展研究者ショートプレゼンテーション
【プレゼン会場B】

技術シーズのショートプレゼン

- 健康・医療
- 情報通信

プレゼン会場B
8/24 (木) 11:00~16:00
8/25 (金) 11:00~16:00

セミナー・シンポジウム >

HOME > セミナー・シンポジウム

セミナー・シンポジウム

セミナー「変容する社会問題の解決への挑戦」

併催事業「大学発ベンチャー表彰2023表彰式」

セミナー「研究開発の俯瞰と潮流」

併催事業「ムーンショットシンポジウム」

出展研究者ショートプレゼン

● 未来社会創造事業



未来社会創造事業 / オンライン開催

変容する社会課題の解決への挑戦 - 食料・エネルギー・生態系サービスの未来を見据えて -

日時
8/24 (木) 10:30~12:00

概要

世界的な食料危機や枯渇性エネルギーからの早期脱却、生物資源の過剰消費など、私たちが抱える社会課題は年々深刻化しています。学問分野や組織の壁を超え、多様なステークホルダーと未来を築くために、JST未来社会創造事業の研究者が社会課題解決に挑みます。

プログラム (敬称略)

10:30-10:40 未来社会創造事業「顕在化する社会課題の解決」領域概要説明



運営統括
早稲田大学総合研究機構グローバル科学知融合研究所
上級研究員 / 研究院教授
高橋 桂子

10:40-10:52 研究開発課題発表「開花時刻調節は未来の作物生産を革新するか」



農研機構中日本農業研究センター
上級研究員 石丸 努

10:52-11:04 研究開発課題発表「光合成に必要な光を透過する農業ハウス用途の波長選択型有機太陽電池の開発」



公立諏訪東京理科大学工学部
教授 渡邊 康之

11:04-11:16 研究開発課題発表「廃棄バイオマスを用いた電気化学触媒の合成」



東北大学材料科学高等研究所
教授 / 主任研究者 藤 浩

11:16-11:28 研究開発課題発表「下水処理場の脱炭素化と豊かな海を同時に実現する未来の循環社会システムを目指して」



高知大学教育研究部
教授 足立 真俊雄

11:28-11:40 研究開発課題発表「『自然を大切に』が当たり前の社会に向けて - スイッチャーポジティブを実現する九州大学の産学連携プロジェクト」



九州大学都市研究センター
准教授 武田 秀太郎

11:40-12:00 総合討論 高橋 桂子運営統括と5名の研究者による総合討論

● 大学発ベンチャー表彰2023



2023 Award for Academic Startups
大学発ベンチャー表彰2023 表彰式

日時

8/24 (木) 15:00~17:00

概要

「大学発ベンチャー表彰 (Award for Academic Startups)」は、今年で10年目を迎えました。大学の成果を活用して起業したベンチャーのうち、今後の活躍が期待される優れた大学発ベンチャーを表彰するとともに、特にその成長に寄与した大学や企業などを表彰します。本表彰は、大学等における研究開発成果を用いた起業および起業後の持続的な取り組みや、大学や企業等から大学発ベンチャーへの支援等をより一層促進することを目的としています。また、経営者が40歳未満かつ設立3年以内の企業のうち、今後の大きな活躍が期待できる大学発ベンチャーとその支援者を対象とした「アーリーエッジ賞」を設定し、若手経営者の挑戦を支援しています。

2023年の受賞者を公表しました。 (8月8日)
注) 大学等: 国立私立大学、高等専門学校、国立試験研究機関、公立試験研究機関、国立研究開発法人、公益法人等の非営利法人
大学発ベンチャー表彰 公式サイトはこちら

プログラム (敬称略)

第一部【表彰式】

15:00 開会挨拶
国立研究開発法人科学技術振興機構
理事長 橋本 和仁
15:07 選考委員長挨拶
大学発ベンチャー表彰選考委員長
摂南大学経済学部 教授 野長 康二

15:15 表彰式

特別賞(2名)

 **株式会社セルージュン**
代表取締役社長CEO 羽藤 晋
支援大学: 慶応義塾大学 医学部 超科学教室
特任教授 藤村 重人
支援企業: 株式会社ニコソ・セル・イノベーション
代表取締役 中山 裕之

事業内容: 水溶性角蛋白に対するIPS細胞を用いた角質再生医療の研究開発

奨励賞(2名)

 **エレファントック株式会社**
代表取締役社長兼CEO 清水 佳雄
支援大学: 東京大学 大学院工学系研究科 教授 川原 圭博

事業内容: インクジェット印刷を用いた独自のアディティブ製法による低環境負荷電子回路基板の製造・販売

科学技術振興機構奨励賞(2名)

 **コウソミル株式会社**
代表取締役 藤味 優
支援大学: 東京大学 大学院理学系研究科 助教 小松 徹
支援企業: ANR株式会社 プリンシパル 宮崎 典典

事業内容: 酵素活性の1分子計測リッドバイオセンサー技術による疾患早期診断と医薬品開発支援

2023年度 産学官連携推進事業(2名)

 **つばねBHB株式会社**
代表取締役CEO 中村 公治
支援大学: 東京工業大学 国等先端研究機構
元素精糖MDM研究センター 実習教授 細野 秀雄
支援企業: 味の素株式会社
代表取締役社長 藤江 太郎

事業内容: アンモニア合成触媒の開発、小規模分散型アンモニア生産システムの開発

大学発ベンチャー賞(20名)

 **株式会社Pale Blue**
共同創業者兼 代表取締役 浅川 純
支援大学: 東京大学 大学院新領域創成科学研究科 基礎科学研究室
先端エネルギー工学専攻 准教授 小島 聖之

事業内容: 「水」を推進剤とした、小型衛星推進機構の開発

2023年度 産学官連携推進事業(2名)

 **株式会社FerropoCure (フェロトキア)**
代表取締役CEO 大根 健士
支援大学: 慶応義塾大学 医学部 名誉教授 佐谷 秀行

事業内容: 世界初のフェロトキア創薬の実現

2023年度 産学官連携推進事業(2名)

 **ジェルクル株式会社**
代表取締役CEO 増井 公祐
支援大学: 東京大学 工学部化学系生命工学科教授 清井 崇臣

事業内容: テトラゲルを利用した医薬品・医療機器 (Gel Medicine) の研究開発等

16:05 閉会挨拶

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
理事長 高橋 保

第二部【受賞者ピッチプレゼンテーション】

16:30 開会
16:30 受賞者ピッチプレゼンテーション
①文部科学大臣賞 / 株式会社セルージュン
②経済産業大臣賞 / エレファントック株式会社
③科学技術振興機構理事長賞 / コウソミル株式会社
④新エネルギー・産業技術総合開発機構理事長賞 / つばねBHB株式会社
⑤日本ベンチャー学会会長賞 / 株式会社Pale Blue
⑥アーリーエッジ賞 / 株式会社FerropoCure (フェロトキア)
⑦大学発ベンチャー表彰特別賞 / ジェルクル株式会社

17:00 選考委員長挨拶 / 閉会
大学発ベンチャー表彰選考委員長
摂南大学 経済学部 教授 野長 康二

●CRDS



イベント会場

研究開発の前瞻と潮流～科学技術イノベーションの動向と日本の活路

日時

8/25 (日) 10:30～12:00

概要

JST研究開発戦略センター（CRDS）は、国内外の科学技術イノベーションや社会・政策の動向を把握・前瞻・分析し、「研究開発の前瞻報告書（2023年版）」を公表しました。本セミナーでは、この活動で見てきた、主要な科学技術分野を取り巻く現状や今後の展望を、AIや量子を含む注目トピックスとともにCRDS独自の視点で解説します。

研究開発戦略センター(CRDS)ホームページはこちら

プログラム

10:35-10:45 イントロダクション

10:45-11:00 「科学技術・イノベーションを取り巻く国際情勢と新展望」



CRDSフェロー 長谷川 典之

11:00-11:15 「カーボンニュートラル実現に向けた研究開発動向」



CRDSフェロー 中村 亮二

11:15-11:30 「社会の変化と世界の動向から展望するマテリアル研究開発の重要課題」



CRDSフェロー 福井 弘行

11:30-11:45 「フロンティアヘルスケアと地球の健康の両立」



CRDSフェロー 小泉 勉司

11:45-12:00 「情報技術の3つのトレンドと生成AIのインパクト」



CRDSフェロー 福島 隆一

12:00-12:15 「未来を拓く量子情報科学」



CRDSフェロー 橋田 高浩

12:15-12:30 質疑応答

●ショートプレゼンテーション

イベント会場

プレゼン会場A

プレゼン会場B

出展研究者ショートプレゼンテーション

日時

8/24 (木) 11:00～16:00

8/25 (金) 11:00～16:00

概要

【プレゼン会場A】

- カーボンニュートラル・環境
- 海洋・宇宙 (8/24のみ)
- 食料・農林水産
- インフラ・安全・社会基盤

【プレゼン会場B】

- 健康・医療
- 情報通信

●ムーンショット



イベント会場

ムーンショット型研究開発制度 各院シンポジウム

～「ムーンショット×ムーンショット」で生み出す破壊的イノベーション～

日時

8/25 (日) 13:30～16:30

概要

ムーンショット目標を達成するリーダーたちは、どんな未来社会を目指すのか。2040、50年の未来社会を展望し、ロボット・AI、健康医療、地球環境、食と農業、量子、宇宙、こうこうと様々な分野のプロフェッショナルがパネルディスカッションを行い、未来社会の創造と、その実現に向けた新たな取組みを議論します。

プログラム(座席順)

講演者

*Thicket Turing Challenge – The grand challenge for transforming scientific research



北野 宏明
ソニーグループ株式会社 執行役 専務 CTO
沖積科学技術大学院大学 教授

パネルディスカッション
【テーマ】「新しい『人生100年時代』をどう実現するか。」
～目標1「AI×人間」目標2「AI×自律」目標3「健康医療」～



北野 宏明
「WIRED」日本版 編集長



滝谷 健一
メディアアーティスト



河野 雅志
社会福祉法人 豊光舎 理事 兼 校長 兼 理事長
株式会社 豊光総合研究所 代表取締役社長

福田 知博 / ムーンショット目標1プログラムディレクター、大阪芸術大学 学長・教授
福田 雅夫 / ムーンショット目標1プログラムディレクター、名古屋大学 未来社会創造機構 専務教授
平野 俊夫 / ムーンショット目標1プログラムディレクター、大阪大学 名誉教授・副総長

【テーマ】「豊か『豊』・こころ・身体』をどう実現するか。」
～目標1「高齢」目標2「健康」食料」目標3「こころ」～



中村 亮二
ジャーナリスト
法政大学 社会学部 非常勤講師



福島 隆一
東京大学大学院 工学部研究科、医学部研究科 教授 /
神奈川歯科大学 理事・副学長、
大学院ヘルスケアイノベーション研究科 研究科長



河野 雅志
富士フイルム株式会社 取締役 専務執行役員
知的財産本部 部長

坂口 元 / ムーンショット目標1プログラムディレクター、愛知医科大学 理事長・学長
平野 健一 / ムーンショット目標1プログラムディレクター、東京農工大学 学長
熊谷 誠哉 / ムーンショット目標1プログラムディレクター、京都大学 人と社会の未来研究院 准教授

【テーマ】「持続可能な『地球環境』をどう実現するか。」
～目標1「環境」目標2「緑化」目標3「気象」～



北野 宏明
「WIRED」日本版 編集長



西口 尚宏
一般社団法人 GEN Japan(Global Entrepreneurship Network)
代表理事・マーケティングディレクター



河野 雅志
ENEOS株式会社 執行役員、中央総合研究所 長

山崎 重吉 / ムーンショット目標4プログラムディレクター、地球環境産業技術研究機構 専務長
北山 隆彦 / ムーンショット目標1プログラムディレクター、大阪大学大学院 基礎工学科 教授
三好 健史 / ムーンショット目標1プログラムディレクター、理化学研究所 計算科学研究センター チームリーダー

●公式ガイドブック

公式ガイドブックなど

大学見本市2023～イノベーション・ジャパンの公式ガイドブックなど各種資料をダウンロードいただけます。出展シーズ全276件の技術概要やその他展示の詳細、問い合わせ先が掲載されています。是非、ご利用ください。

公式ガイドブック



ダウンロード

会場マップ



ダウンロード

ご案内状



ダウンロード

●大学見本市とは

大学見本市とは

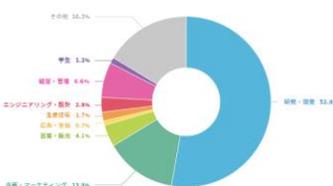
「大学見本市～イノベーション・ジャパン」とは

「大学見本市～イノベーション・ジャパン」は、日本最大の産学連携イベントとして、2009年から公益財団法人科学技術振興機構（JST）が主催しています。全国の大学や公的機関等から選ばれた研究機関の技術発表、技術情報を受取ることで、及び、業界向けに大学や産業界のマッチング支援も実施することも目的とし、本業での発展も促します。2020年から2022年までの3年間は、感染対策としてオンライン開催を行いました。本年は昨年より会場とウェブサイトでの併設開催となります。

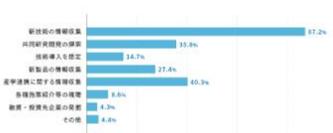
出展者層



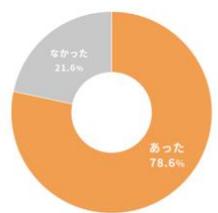
出展分野



実施目的



展示内容について具体的に聞かれた研究開発はあったか



(イノベーション・ジャパン2022～大学見本市とデジタルマッチング-Online) 掲載先248

今回の「大学見本市2023～イノベーション・ジャパン」本号は2019年以來4年ぶりの実景ウェブサイトでの総合情報提供を行います。

- 2022年産学連携から2023年の産学連携シーズが公開
- 2023年産学連携シーズは全て特許情報あり（出展者負担）
- 2023年産学連携シーズは特許シーズを登録、種類もその場でC/C
- 2023年産学連携シーズで1000以上のプロモーション情報

ぜひご来場ください。各大学や産業界の最新の技術シーズもご来場ください。オンラインと併設開催の開催期間中は、各大学や産業界の最新の技術シーズもご来場ください。併設開催期間中は、各大学や産業界の最新の技術シーズもご来場ください。併設開催期間中は、各大学や産業界の最新の技術シーズもご来場ください。

2019年産学連携ウェブサイト教育振興情報（会場）の会場風景



● FAQ



FAQ

FAQ

Q 大学見本市に参加するにはどうすればいいですか？

A 公式サイトから「来場登録」を行ってください。ご来場当日は入場証を印刷してご持参いただき、入場口にてご提示ください。

Q 公式サイトから「来場登録」をしましたが、登録完了メールが届きません。

A 登録フォーム送信後、すぐに「登録完了メール」が自動送信されます。メールが届かない場合は、迷惑フォルダなどに入っているか、メールアドレスが間違っている可能性があります。迷惑メール対策でメールの受信制限(ドメイン指定受信)をしている場合は、「@tef-jstai-aketsuke.com」を受信許可いただくようお願いいたします。以上をご確認の上、再度ご登録をお願いいたします。

Q 1名の来場登録で、何名まで入場できますか？

A 1名のご登録につきご本人さまのみ入場できます。複数名でご参加の場合は、それぞれご登録をお願いいたします。

Q 代理で公式サイトから来場登録は可能ですか？

A 代理登録は可能です。その際、ご来場いただくご本人様の個人情報をご登録ください。

Q 8月24日、25日の両日に来場したいのですが、登録は1回のみで問題ないですか？

A 問題ありません。1枚の入場証で両日入場可能です。

Q 来場登録をした際の登録情報を変更したいのですが、

A 登録完了メールに「登録情報変更」のリンクが記載されています。このリンクから変更が可能です。

● 関連リンク・フッター

関連リンク

大学見本市2023問い合わせ窓口

☎ 03-6228-4082 ✉ visit_ij2023@alfanet.jp
平日10:00~17:00

9.制作物

●表面

入場無料 日本最大級の産学連携イベント **4年振り!**
東京ビッグサイト南1ホールで対面開催!

大学見本市2023

～イノベーション・ジャパン

2023.8.24(木) 10:00-17:30 ▶ 25(金) 10:00-17:00

東京ビッグサイト 南1ホール (東京都江東区有明3-11-1)

りんかい線:国際展示場駅より徒歩 約7分 | ゆりかもめ:東京ビッグサイト駅より 徒歩 約3分

主催: 国立研究開発法人 科学技術振興機構 共催: 内閣府、文部科学省

後援: 一般社団法人日本経済団体連合会、公益社団法人経済同友会、日本商工会議所、東京商工会議所



事前来場登録はこちらから ▶▶▶

<https://innovationjapan.jst.go.jp>



併催事業

大学発ベンチャー表彰2023 表彰式

ムーンショット型研究開発制度 合同シンポジウム

～「ムーンショット×ムーンショット」で生み出す破壊的イノベーション～

●裏面

- ▶ 125機関から276件の最新技術シーズが出展
- ▶ 研究者自らがブースで説明! その場で相談質問可能!
- ▶ 大学等シーズ展示は全て特許取得済み! (出願中も含む)

大学等シーズ展示

6分野
276件

- カーボンニュートラル・環境 83件
- 健康・医療 90件
- 食料・農林水産 21件
- 海洋・宇宙 4件
- 情報通信 48件
- インフラ・安全・社会基盤 30件

JST事業展示 他

JST事業展示や採択課題展示、またJSTが保有する特許技術紹介、連携機関合同でのムーンショット型研究開発制度の展示を行います。



他、JSTの情報サービスご案内 等



セミナー

8.24(木)
10:30-12:00



変容する社会課題の解決への挑戦

一食料・エネルギー・生態系サービスの未来を見据えて～分野や組織の壁を超え多様なステークホルダーと未来を築くため、JST未来社会創造事業の研究者が社会課題解決に挑む。

8.25(金)
10:30-12:30



研究開発の俯瞰と潮流

～科学技術イノベーションの動向と日本の活路～ JST研究開発戦略センター(CRDS)が、AIや量子を含む主要な科学技術分野を取り巻く現状や今後の展望を解説する。



併催事業



8月24日(木) 15:00-17:00

大学発ベンチャー表彰2023 表彰式
～Award for Academic Startups～



8月25日(金) 13:30-16:30

ムーンショット型研究開発制度 合同シンポジウム
～「ムーンショット×ムーンショット」で生み出す破壊的イノベーション～

※都合により展示、プログラムの内容を変更する場合があります。

来場登録・セミナー等申込みはこちらから ▶▶▶ 事前の来場登録をおすすめします。

<https://innovationjapan.jst.go.jp>



来場登録制 / 入場無料

サイズ: ロングハガキ (235mm×120mm)

●表紙

大学見本市2023 公式ガイドブック
2023年8月24日(木) 10:00-17:30
2023年8月25日(金) 10:00-17:00
東京ビッグサイト 南1ホール
主催: JST 国立研究開発法人 科学技術振興機構 共催: 内閣府、文部科学省
後援: 一般社団法人日本経済団体連合会、公益社団法人経済同友会、日本商工会議所、東京商工会議所

●開催概要、INDEXなど

開催概要
大学見本市2023～イノベーション・ジャパン
2023年8月24日(木)～25日(金)
会場: 東京ビッグサイト 南1ホール
主催: 国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST)
共催: 内閣府、文部科学省
後援: 一般社団法人日本経済団体連合会、公益社団法人経済同友会、日本商工会議所、東京商工会議所
大学等シース展示
JST・その他事業展示
併催事業
INDEX

●大学等シース展示一覧

大学等シース展示一覧
カーボンニュートラル・環境
大阪公立大学: 小型人工衛星用の帯電検知センサ開発
大阪産業大学: 空の脱炭素化、電動航空機を実現する軽量断熱システム
九州大学: 機械学習を利用したレーザー溶接および制御システム

●JST・その他展示

JST・その他事業展示
J-01 JSTスタートアップ出資・支援事業
J-03 JST所有特許技術紹介
2,445件
JSTスタートアップ出資・支援事業
JST所有特許技術紹介

10.記録写真

開会宣言



総合受付 入口



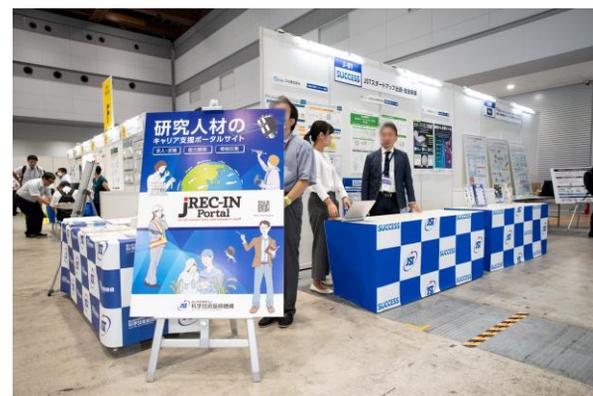
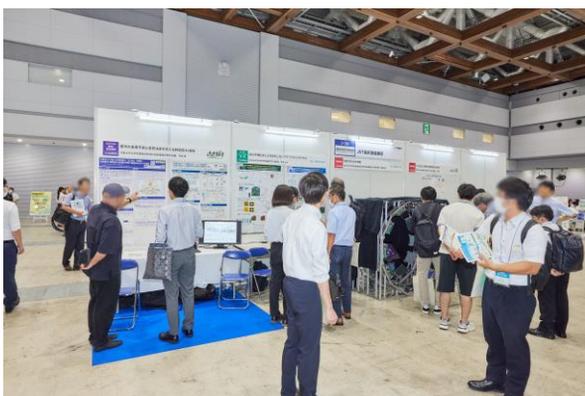
会場全景



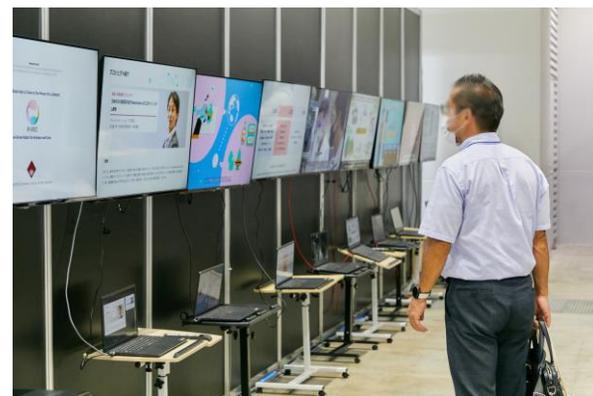
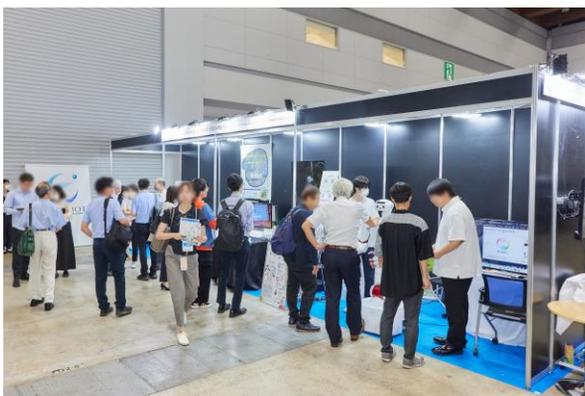
大学等シーズ展示



JST事業ブース



連携展示エリア



大学等シーズ展示ショートプレゼンテーション



未来社会創造事業セミナー



大学発ベンチャー表彰



CRDSセミナー



アンケート回収コーナー



インフォメーション



休憩コーナー



エントランス設置看板

